

小平市立中学校部活動地域連携・地域移行
検討委員会検討結果報告書(案)

令和6年 月

小平市立中学校部活動地域連携・地域移行検討委員会

目次

はじめに

- 1 背景
- 2 検討目的
- 3 小平市の現状
- 4 検討の経過
- 5 検討委員会からの意見

<参考資料>

- 1 委員名簿
- 2 検討委員会スケジュール
- 3 小平市立中学校部活動地域連携・地域移行検討委員会設置要綱
- 4 スポーツ活動・文化芸術活動アンケート（令和5年9月小平市教育委員会指導課実施）

はじめに

本検討委員会は学識経験者、関係する団体、学校関係者や地域からの意見を反映することで小平市の部活動地域連携・地域移行の目指すべき方向性を示すために設置されました。

小平市立中学校における部活動は令和4年度時点で運動部と文化部合わせて、127の部活動が活動しており、8割以上の生徒が部活動に励み、活発に活動しております。

部活動は生活指導の側面がありつつも、子どもたちの人間性の向上や充実した学校生活を送るために欠かせないものとなっております。

こうした活動はこれまで学校の教員によって支えられてきましたが、教員の長時間労働の一因となっており、また、現在のところ小平市の児童、生徒数は増加傾向にありますが、国全体として少子化が進む中、これまで通りの部活動の継続が難しくなっていくことが予想されます。

また、国や東京都において、部活動の地域連携・地域移行については方向性が示されており、小平市としても部活動の在り方について見直す時期にきています。

令和5年5月に、本検討委員会が設置され、7月から検討を始めました。児童・生徒とその保護者及び教員に対し、アンケートを実施し、小平市の部活動地域連携・地域移行について検討し、この度、報告書を作成しました。

小平市には、教員の負担軽減だけではなく、部活動の地域連携・地域移行が子どもたちにとって放課後の活動が充実したものになり、さらには、より良い教育を受けることにつながるものになるよう取り組んでもらうことを期待します。

1 背景

部活動地域連携・地域移行の取組背景として、平成28年度に文部科学省で実施した教員勤務実態調査において、看過できない教員の勤務実態が明らかとなり、平成29年6月に中央教育審議会へ文部科学大臣から諮問し、平成31年1月に答申が出された。その中で、教員の長時間労働の要因の一つに部活動に関わる時間が長いことが指摘されていた。

教員の働き方を見直すためにも教員の部活動への関わり方を見直す必要があり、国や東京都また小平市においても見直しが進められた。

また、直近では国や東京都から部活動地域連携・地域移行について、より具体的な実現方策とスケジュールが明示され、小平市としての部活動地域連携・地域移行の方向性を示すこととされた。

○「国」「都」「小平市」の動き

| | | |
|-------|-----|--|
| 平成29年 | 4月 | 教員勤務実態調査の教員の勤務時間に係る部分の速報値を文部科学省が公開 |
| 平成29年 | 6月 | 中央教育審議会へ文部科学大臣から諮問 |
| 平成30年 | 3月 | 「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」をスポーツ庁が策定 |
| 平成30年 | 4月 | 「運動部活動の在り方に関する方針」を東京都教育委員会が策定 |
| 平成30年 | 12月 | 「文化部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」を文化庁が策定 |
| 平成31年 | 1月 | 中央教育審議会の答申 |
| 平成31年 | 3月 | 「小平市立学校に係る運動部活動の方針」を小平市が策定 |
| 平成31年 | 3月 | 「文化部活動の在り方に関する方針」を東京都教育委員会が策定 |
| 令和2年 | 2月 | 「小平市立学校に係る文化部活動の方針」を小平市が策定 |
| 令和3年 | 10月 | スポーツ庁において「運動部活動の地域移行に関する検討会議」を実施 |
| 令和4年 | 2月 | 文化庁において「文化部活動の地域移行に関する検討会議」を実施 |
| 令和4年 | 7月 | 東京都教育委員会において「部活動検討委員会」を実施 |
| 令和4年 | 12月 | スポーツ庁及び文化庁が「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」を策定 |
| 令和5年 | 3月 | 「学校部活動及び地域クラブ活動に関する総合的なガイドライン」を東京都教育委員会が策定 |
| 令和5年 | 5月 | 小平市において小平市立中学校部活動地域連携・地域移行検討委員会（以下、「本検討委員会」という。）を設置 |

2 検討目的

スポーツ庁及び文化庁の「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」によると「令和5年度から令和7年度までの3年間を改革推進期間として地域連携・地域移行に取り組みつつ、地域の実情に応じて可能な限り早期の実現を目指す」としていることとしている。小平市においても改革推進期間に部活動地域連携・地域移行の方向性を定め、教員の負担軽減と子どもたちがより良い教育を受けることができるように在り方を示すことが本検討委員会の検討目的である。

本検討委員会は、「小平市立中学校部活動地域連携・地域移行検討委員会設置要綱」第2条に基づき、検討する。

小平市立中学校部活動地域連携・地域移行検討委員会設置要綱

令和5年5月16日

(設置)

第1条 学校部活動の在り方に関する検討を行うために、小平市立中学校部活動地域連携・地域移行検討委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を検討する。

- (1) 部活動地域連携・地域移行に関する諸課題について検討すること。
- (2) 上記課題の解決を図るために、具体的な方向性を検討すること。
- (3) その他必要な事項に関すること。

具体的には、以下の4つの項目の観点から検討を行った。

- (1) 部活動に関わっている教員の在校時間について
- (2) 平日の部活動地域連携について
- (3) 休日の部活動地域移行について
- (4) 地域人材の発掘について

3 小平市の現状

令和4年5月1日時点の小平市立中学校全8校における部活動加入率は、87.8%の加入率となっており、8割以上の加入率となっていることから小平市における部活動の関心は高いと言える状況である。

小平市としての部活動に対する支援・取組は、指導面、費用面、施設面について支援をしている。

まず、指導面における支援は、部活動指導員※1と外部指導員※2の配置である。部活動指導員については、令和5年度は各校1名ずつに加え、小平第三中学校には、試行的に部活動指導員として小学校の教員を兼業兼職の手続きを経て、1名配置し、8校に9名を配置している。外部指導員については令和4年度は8校に54名配置している。

次に費用面での支援は、東京都大会及び地区大会に対する大会参加費、全国大会及び関東大会に対する大会参加費、交通費、宿泊費の補助金交付を実施している。

施設面での支援は、小平市陸上競技会が中学生向けに開催している「陸上中学長期教室」実施の際に、体育施設料の年間利用の免除を行っている。

- ※1 小平市の会計年度任用職員であり、顧問教員の代わりに部活動指導、引率等を行うことが出来る。
- ※2 有償ボランティアであり、部活動指導員と異なり、単独での指導、引率等が出来ず、技術指導のみ行う。

4 検討の経過

「2 検討目的」にある4点に沿って、主に以下の検討が行われた。

(1) 部活動に関わっている教員の在校時間について

【主な意見】

顧問教員が部活動に携わることによる負担が大きいのではないか

- ・平日3日の部活動指導を推奨しており、生徒や保護者のニーズを受けて活動日数や時間が多くなっている傾向がある。
- ・顧問教員の得意な種目であれば担当しても大きな負担はないという声もあった。必ずしも自分が得意としている種目の顧問教員を任されるわけではないため、その場合、精神的な負担が大きい。大会についても自分の学校の出場が終わったとしても顧問教員は審判等の大会運営に携わり続ける必要があるため負担がある。

(2) 平日の部活動地域連携について

【主な意見】

教員の代わりとなって部活動指導を行う部活動指導員について

- ・保護者の意見としては、既に部活動指導員が配置されている事例もあることからあまり抵抗感はない。指導者が信頼できる人物か心配な部分もあるが、そこは学校が信頼できる人物か確認してくれている点やトラブルがあっても学校が対応してくれると思っているため安心している。

- ・部活動に入部する段階で先輩や保護者から事前に評判等を聞いた上で入部している。しかし、当該学校に初めて入った部活動指導員となると懸念はある。
- ・現場の中学校からは外部の指導者は普段から学校にいないため、学校や生徒の状況が分からないという声や何かあったときの補償はあるのか等の声があった。学校の教員でないと教育的指導※3ができないのではないかとという心配もある。基準をつくる必要があるのではないかと。

※3 生活態度、人との接し方や団体行動などに関する指導

部活動指導員を配置する必要性について

- ・中学校の現場としては足りていない。小平市立中学校の校長の声としても最低でも2名、多いところで3名の配置が必要とのことであった。
教員のワーク・ライフ・バランスの観点からも部活動指導員は必要であり、生徒にとっても専門的な部活動指導を受けることができ、充実感につながると思う。
- ・部活動指導員が配置されることで部活動による教員の負担は軽減される。配置により教員は授業準備や生徒指導の時間にも充てることができ、副次的に生徒たちのためになる。また、外部の指導者が入ることによって生徒たちは専門的な指導を受けることができる。

部活動の精選・合同について

- ・部員数が少ないことにより廃部にするというわけではなく、部員数が少なくても希望して入部しているのであれば尊重してあげたい。
- ・部員数を多く必要とする団体競技については近隣の中学校と合同部活動を実施してみるのもいいのではないかと。また、部活動数を減らすにしても希望する活動が引き続きできる受け皿を作る必要があるのではないかと。

(3) 休日の部活動地域移行について

【主な意見】

外部団体での取組について

- ・小平市体育協会では、東京都の補助金をもとに6つの種目で小平市体育協会が主催で講習会を開催している。
- ・小平市文化振興財団では、近隣他市を含めた中学生・高校生を対象にプロの吹奏楽団による指導・合同演奏の場を設けている。

地域クラブ活動等による公共施設の利用について

- ・公共施設では、平日は空いているが、休日は大会等があるなどして埋まっている。現状では、市の公共施設にも限りがあるため、休日の地域クラブ活動等のために場所の提供は難しい。

- ・小学校の校庭、体育館、教室などを活用できるのではないか。
- ・小学校の体育館だとサイズが小さく、中学校の体育館と同じように利用することは難しいと思うが地域移行の際は中学校の施設を利用することは可能なのか。
- ・中学校の部活動は土日どちらか活動していることから2日間、常に部活動で使用しているということではなく、中学校の施設も地域移行の際に利用することはできる。

地域クラブチーム等による指導について

- ・地域移行ではクラブチーム等による指導となるため、ついていけなくなる子どもも出てくるのではないか。
 選択肢を失うことが無いよう受け皿としての選択肢を複数設けた方が子どもも自分に合った活動に参加できるのではないか。

地域移行の進め方について

- ・体育協会、文化財団、民間のスポーツクラブ等、外部団体の方で定期的に活動を実施してもらうことはできないか。場所については中学校の施設を貸し出すことができるため、体育協会や文化振興財団にはそのような企画をお願いしたい。
- ・指導員の紹介や派遣等については小平市体育協会としても協力したいが、指導員の教育的指導の資質について分からない。教育委員会の方でも見極めながら指導・監督をしていくことが必要である。

(4) 地域人材の発掘について

【主な意見】

部活動指導員や外部指導員を担う人材をどのように確保するか

- ・付近の小学校、高校、大学、特別支援学級に在籍の教員の中で希望する方から確保するのはどうか。
- ・地域教育コーディネーターを通して学校と地域の指導者をマッチングすることは可能。
- ・小学校の教員の中にも競技経験のある者もいる。小学校の教員も部活動に参画してもいいのではないか。

指導者確保について

- ・部員数が少ない部活動については近隣の中学校との合同部活動を行うことで必要な指導者数が従来より少なくすむのではないか。
- ・地域の中にどのような指導者がいるのか調査をし、その上で地域の人材に合わせた部活動をつくるのもいいのではないか。

外部団体から指導者を中学校に紹介した事例について

- ・小平市体育協会では多くはないが事例はある。加盟している団体があるため、ある

程度の対応はできるだろう。ただ、あくまで仲介であるため、専門的指導力があっても教育的指導ができるのかまでは分からない。

- ・小平市文化振興財団ではそのような事例はない。

指導者の人材バンクなどの仕組みについて

- ・市の方で指導者を紹介してくれる仕組みがあれば学校としてもより学校に合った方を部活動指導員としてお願いできる。

(5) その他

【主な意見】

部活動地域連携・地域移行の進め方について

- ・部活動地域連携・地域移行は国が示した施策であり、国が示した方向性に沿って各自治体が環境を整えたり、予算を確保するのは自治体の責務である。
部活動地域連携・地域移行を進めるにあたって、教育委員会と市長部局が一体となり、市全体で当事者意識をもって取り組んでいくことが大切ではないか。
- ・本検討委員会が作成する報告書で方向性を示すことになると思うが、今後はそれと合わせて小平市として10年後、20年後のビジョンをイメージしていく必要がある。
- ・東京都全体の部活動地域連携・地域移行の進捗状況は今のところあまり進んでいない。小平市は積極的に動いている方になる。さらなる、部活動指導員の増員を実現してもらいたい。

5 検討委員会からの意見

これからの少子高齢化社会においても「持続可能な部活動」を実施し、学校、地域、保護者が一体となって、希望する全ての生徒が部活動に参加できる環境を整えていく必要があると考える。そのためには、今後、生徒数の減少が見込まれるため、様々な視点から部活動数を見直し、指導者確保に努めることや近隣校との合同部活動の実施等を積極的に検討し、実施していく必要がある。

また、教員のワーク・ライフ・バランスの実現や、授業準備等の教員でしか担えない業務に注力させ、教育の質の向上を実現するために、可能な限り段階的に速やかに希望する全ての学校に部活動指導員を増員・配置を検討する必要がある。部活動指導員が全市立中学校の希望に基づき適切に配置されることは、持続可能な部活動を進める上で欠くことのできないものである。

部活動の地域移行については、外部団体（小平市体育協会や小平市文化協会に加盟している各連盟や協会、民間の団体等）と連携を図りながら、当面の間は可能な範囲で地域移行に取り組み、課題の整理や効果検証を行いながら段階的に実施を検討する必要がある。

また、各校の部活動の状況や取組についての説明等の周知に努め、部活動地域連携・地域

移行が、児童・生徒、保護者、地域住民等の理解を得ながら円滑に実施できるよう努めていく必要がある。

これまでの検討内容をもとに整理して、次のとおりまとめる。

(1) 指導者確保

- ・顧問教員の代わりとなり得る「部活動指導員」は、持続可能な部活動に向けて欠くことのできない存在であることから、増員に向けた検討を速やかに行う必要がある。また、部活動指導員を増員し各校の必要数を配置することで、教員が授業準備や生徒指導など教員でしか担えない業務に注力できる環境を整え、より質の高い教育の推進を実現していく必要がある。
- ・現状の部活動数の見直しに取り組む必要がある。見直しにあたっては、部活動数のみに着目するのではなく、学校の状況、生徒の希望等を踏まえ受け皿を整えるなど、希望する子どもたちが部活動に取り組めるよう配慮すること。
- ・部活動に関わる人材の確保については、専門性を有する質の高い人材を学校の希望を踏まえて配置することができるよう、市としての仕組みを整える必要がある。

(2) 外部指導者の質

- ・部活動指導員や外部指導員は、専門性や技術指導力による指導だけでなく、信頼関係に基づいた教育的な指導を行うべきであることから、市が必要に応じて研修等を実施するなど指導力向上に努める必要がある。

(3) 地域移行

- ・地域移行の活動場所については、市の公共施設や小・中学校の施設を活用するなど、生徒及び保護者の負担軽減につながるための検討をする必要がある。
- ・スポーツ・文化活動を行っている団体と協力し、試行的に地域移行の取組を進めるなど、円滑に移行できるよう講じていく必要がある。

(4) 今後の継続的な検討

- ・部活動地域連携・地域移行については、スポーツ庁、文化庁及び東京都が方向性を明示しており、小平市としてもこの取組を推進していく必要がある。今後は教育委員会事務局と市長部局が連携・協働し一体となって進めていくべき取組であるとの認識にたち、児童・生徒、保護者、教職員にとってよりよい部活動の在り方を引き続き検討・協議していくことを望む。

参 考 資 料 目 次

資料 1 委員名簿

資料 2 検討委員会スケジュール

資料 3 小平市立中学校部活動地域連携・地域移行検討委員会設置要綱

資料 4 スポーツ活動・文化芸術活動アンケート（令和 5 年 9 月小平市教育委員会指導課実施）

資料 1

(敬称略 五十音順)

| | 選出区分 | 氏名 | 所属 |
|---|-----------------|-------|---------------|
| 1 | 文化芸術に関係する団体の代表者 | 新井 啓明 | 小平市文化振興財団 |
| 2 | スポーツに関係する団体の代表者 | 荒武 宗昭 | 小平市体育協会 |
| 3 | 学識経験者(副委員長) | 太田 元 | 東京女子体育大学 |
| 4 | 社会教育に携わる者 | 下村 咲子 | 小平市統括コーディネーター |
| 5 | 中学校校長会代表 | 関 勝志 | 小平第四中学校 |
| 6 | 保護者代表 | 薙野 圭史 | 小平第五中学校PTA |
| 7 | 学識経験者(委員長) | 花田 茂 | 明星大学 |
| 8 | 保護者代表 | 三浦 由子 | 小平市立小学校PTA連合会 |
| 9 | 小学校校長会代表 | 山縣 弘典 | 小平第十小学校 |

資料2

| | 時期 | 検討内容 |
|-----|---------------|---|
| 第1回 | 令和5年 7月28日(金) | <ul style="list-style-type: none">・委員長、副委員長の選出・国、東京都の動向及び小平市の現状の説明・今後の検討委員会の予定・アンケート案の作成 |
| 第2回 | 令和5年10月 3日(火) | <ul style="list-style-type: none">・アンケート結果の分析・あり方の検討 |
| 第3回 | 令和5年12月12日(火) | <ul style="list-style-type: none">・あり方の検討 |
| 第4回 | 令和6年 1月30日(火) | <ul style="list-style-type: none">・報告書の内容精査 |

資料 3

小平市立中学校部活動地域連携・地域移行検討委員会設置要綱

令和 5 年 5 月 1 6 日

(設置)

第 1 条 学校部活動の在り方に関する検討を行うために、小平市立中学校部活動地域連携・地域移行検討委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事項)

第 2 条 委員会は、次に掲げる事項を検討する。

- (1) 部活動地域連携・地域移行に関する諸課題について検討すること。
- (2) 上記課題の解決を図るために、具体的な方向性を検討すること。
- (3) その他必要な事項に関すること。

(構成)

第 3 条 委員会は、次に掲げる者のうち小平市教育委員会教育長が依頼する委員 9 人以内をもって構成する。

- (1) 文化芸術又はスポーツに関する識見を有する者 2 人
- (2) 文化芸術又はスポーツに係る団体の代表者 2 人
- (3) 小平市立学校長の代表者 2 人
- (4) 小平市立学校の保護者 2 人
- (5) 社会教育に携わる者 1 人

(委員長及び副委員長)

第 4 条 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選によりこれを選出する。

- 2 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(招集)

第 5 条 委員会は、委員長が招集する。

(会議の公開)

第 6 条 委員会の会議(以下この条において「会議」という。)は、公開する。ただし、会議を公開することにより、公平かつ円滑な会議の運営が著しく阻害されるおそれがあるときは、委員会の議により非公開とすることができる。

- 2 会議の傍聴の手続、傍聴人の遵守事項その他の会議の公開に関し必要な事項は、別に定める。

(意見の聴取)

第7条 委員会は、必要に応じて検討事項に関係がある者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(設置期間)

第8条 委員会の設置期間は、委員会の設置の日から令和6年3月31日までとする。

(庶務)

第9条 委員会の庶務は、教育部指導課において処理する。

(その他)

第10条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

(施行期日等)

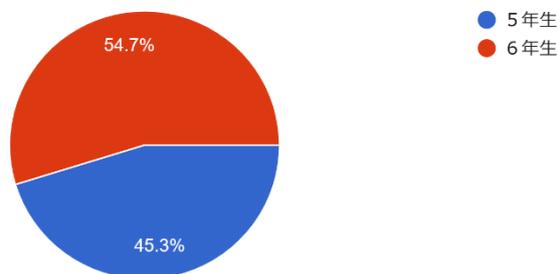
- 1 この要綱は、令和5年5月16日から施行する。
- 2 この要綱は、令和6年3月31日限り、その効力を失う。

資料 4

スポーツ活動・文化芸術活動アンケート（小学校第5・6学年児童）

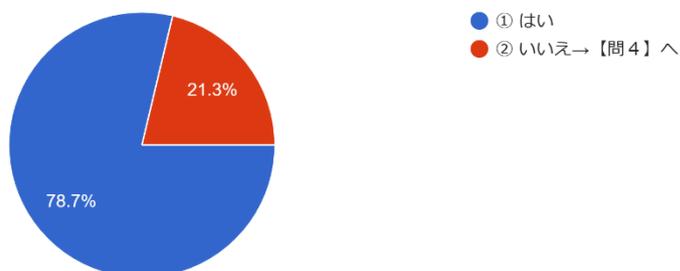
回答数 1297件

[問1] 学年を選んでください。



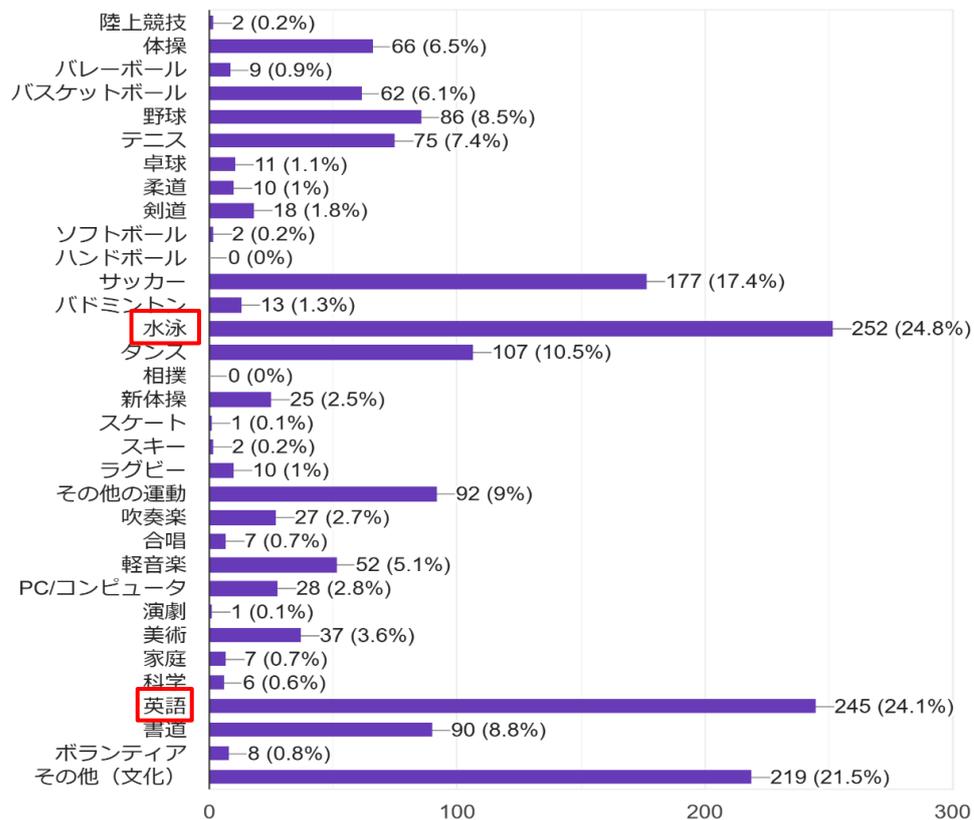
[問2] 現在、学校以外でスポーツ活動や文化芸術活動を行っていますか。

※文化芸術活動：音楽や書道、英語などの活動（塾・教室・クラブなど）のこと

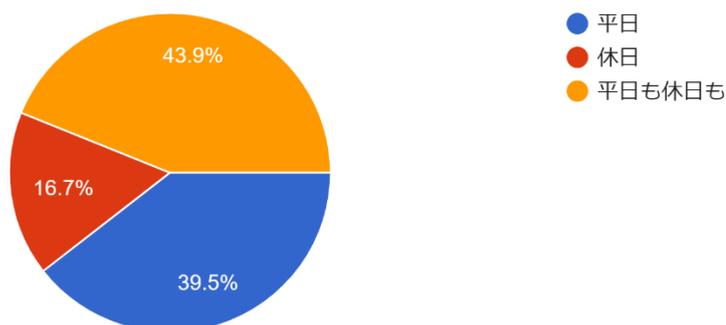


[問3] ※問2で【①はい】と答えた方にお聞きします。

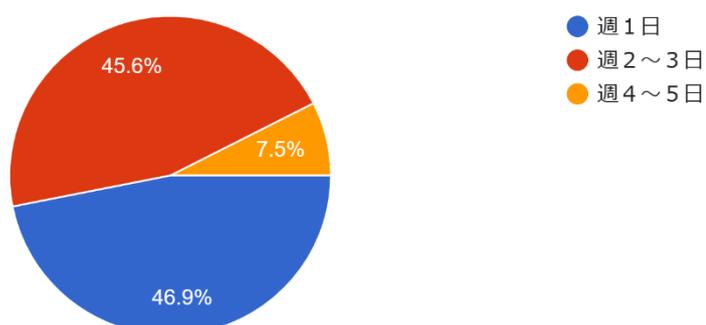
(1) 何の種目の活動を行っていますか（2つ以上選んでもかまいません）



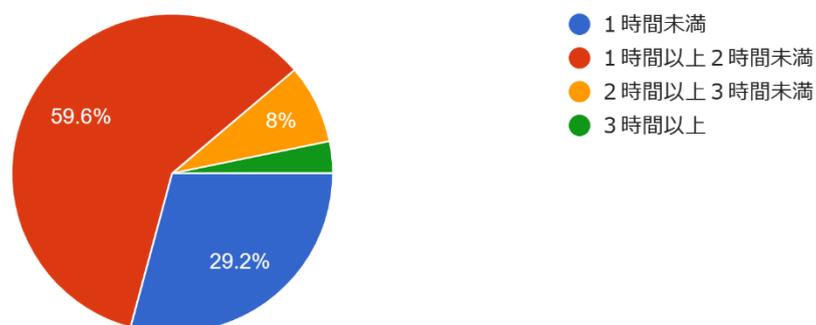
(2) その活動はいつ行っていますか (2つ以上の場合は多いものを教えてください)



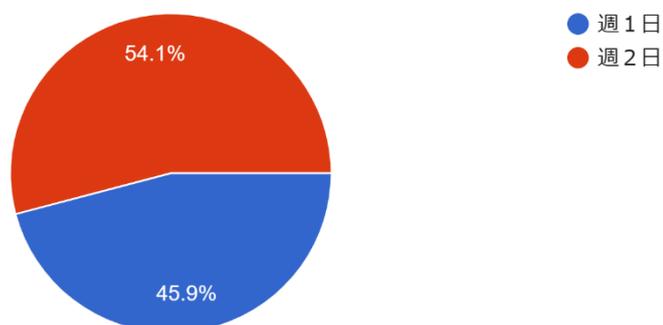
(3) ※平日に活動をしている方にお聞きします。どれくらいの日数、活動していますか。



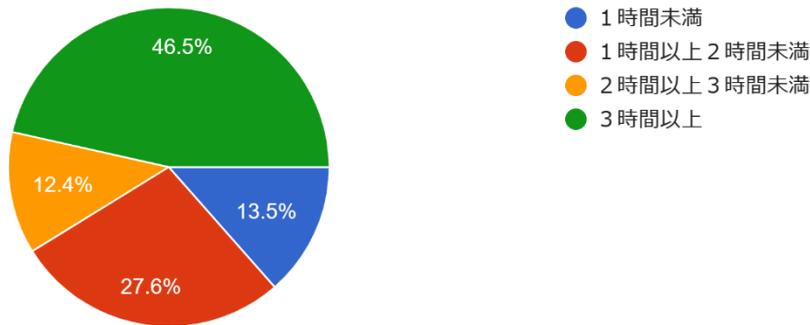
(4) ※平日に活動をしている方にお聞きします。1日にどれくらいの時間、活動していますか



(5) ※休日に活動をしている方にお聞きします。どれくらいの日数、活動していますか



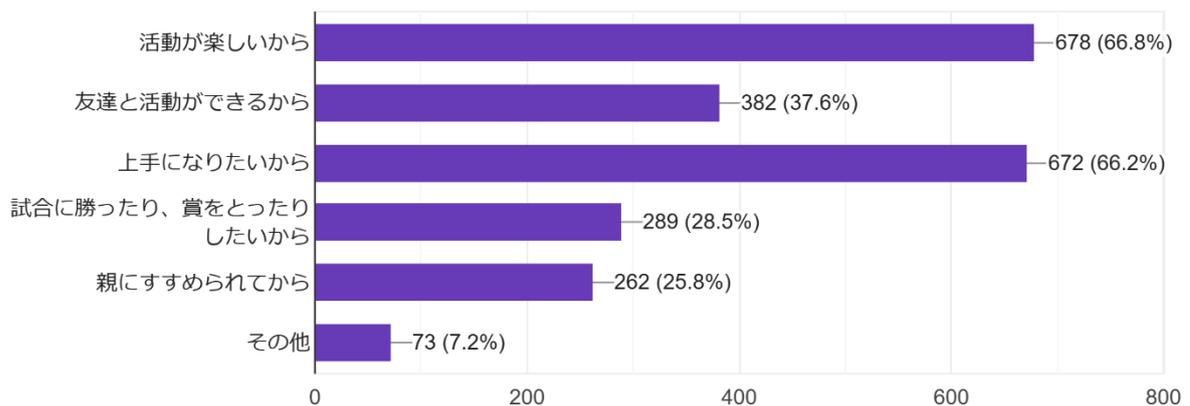
(6) ※休日に活動をしている方にお聞きします。1日にどれくらいの時間、活動していますか



【※(7)と(8)は問3を答えた方全員にお聞きします】

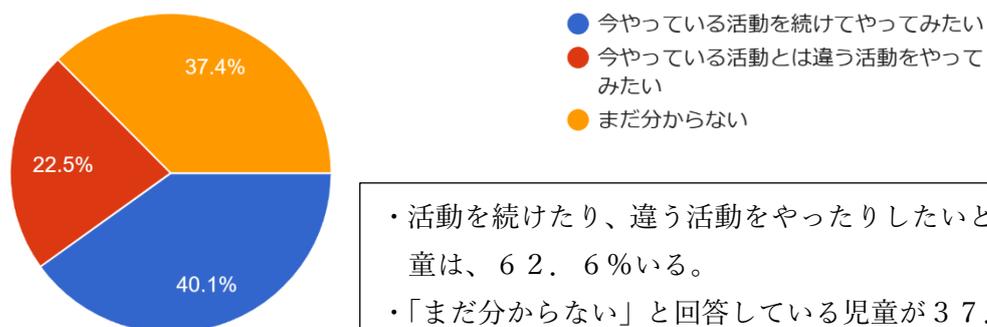
(7) 現在、活動を行っている理由は何ですか。(複数回答可)

【※(7)と(8)は活動を行っている方全員にお聞きします】 (7) 現在、活動を行っている理由は何ですか。(複数回答可)
1,015件の回答



- ・「活動が楽しいから」「上手になりたいから」と回答した児童が多い。
- ・「その他」の内容として、「受験のため」「将来役に立つから」「仲の良い友達がやっているから」「練習して上達したら評価してもらえるから」「友達にすすめられたから」などの意見があった。

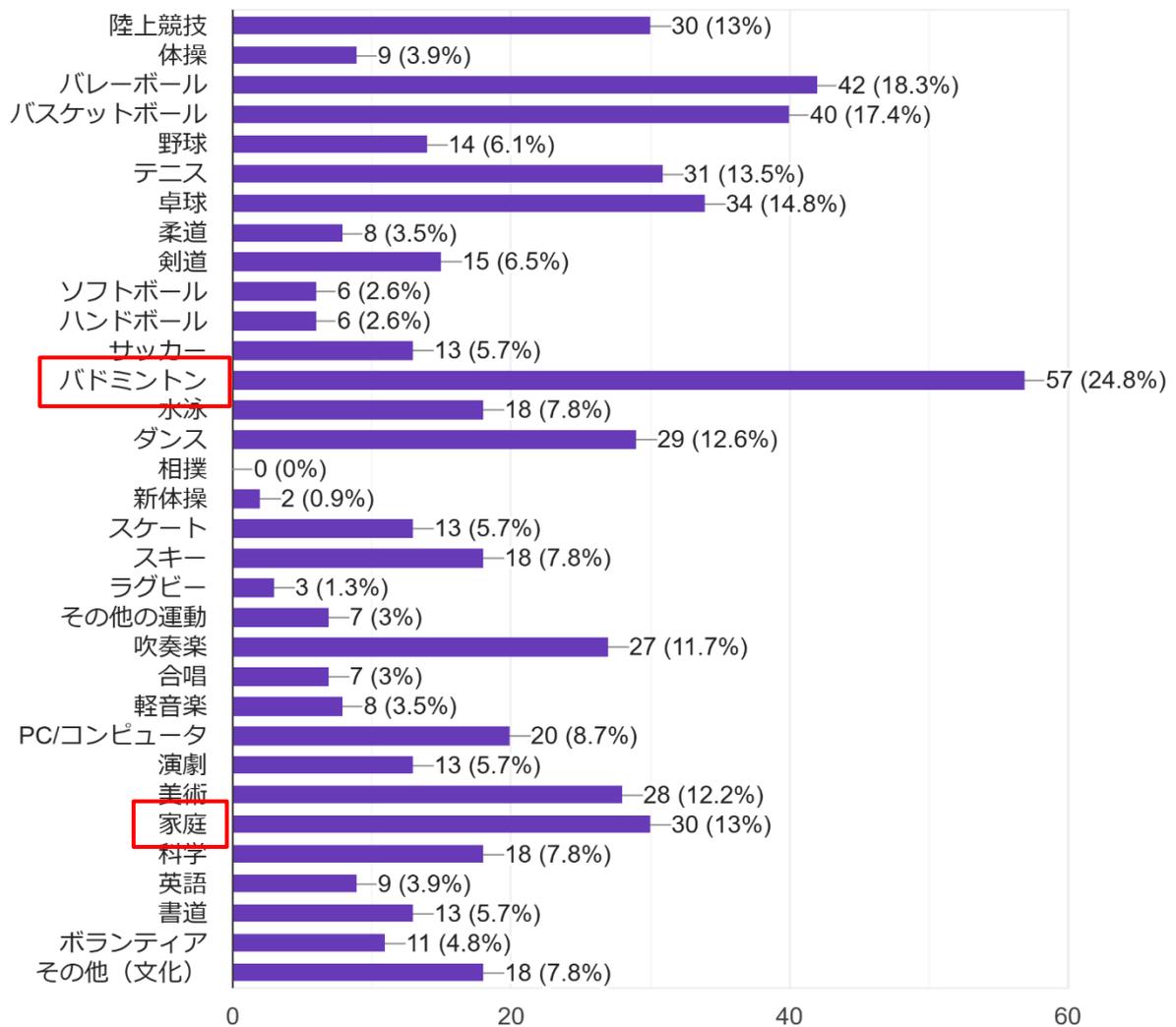
(8) 中学生になったらどのような種目の活動をやってみたいと思いますか。



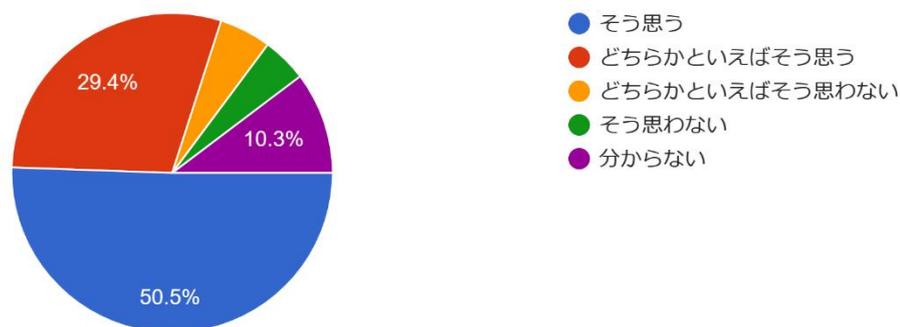
- ・活動を続けたり、違う活動をやりたいたいと回答した児童は、62.6%いる。
- ・「まだ分からない」と回答している児童が37.4%いる。

【※（８）で〔②いまやっている活動とは違う活動をやってみたい〕と答えた方にお聞きします。】

（９）どのような種目の活動をやってみたいですか（２つ以上選んでもかまいません）

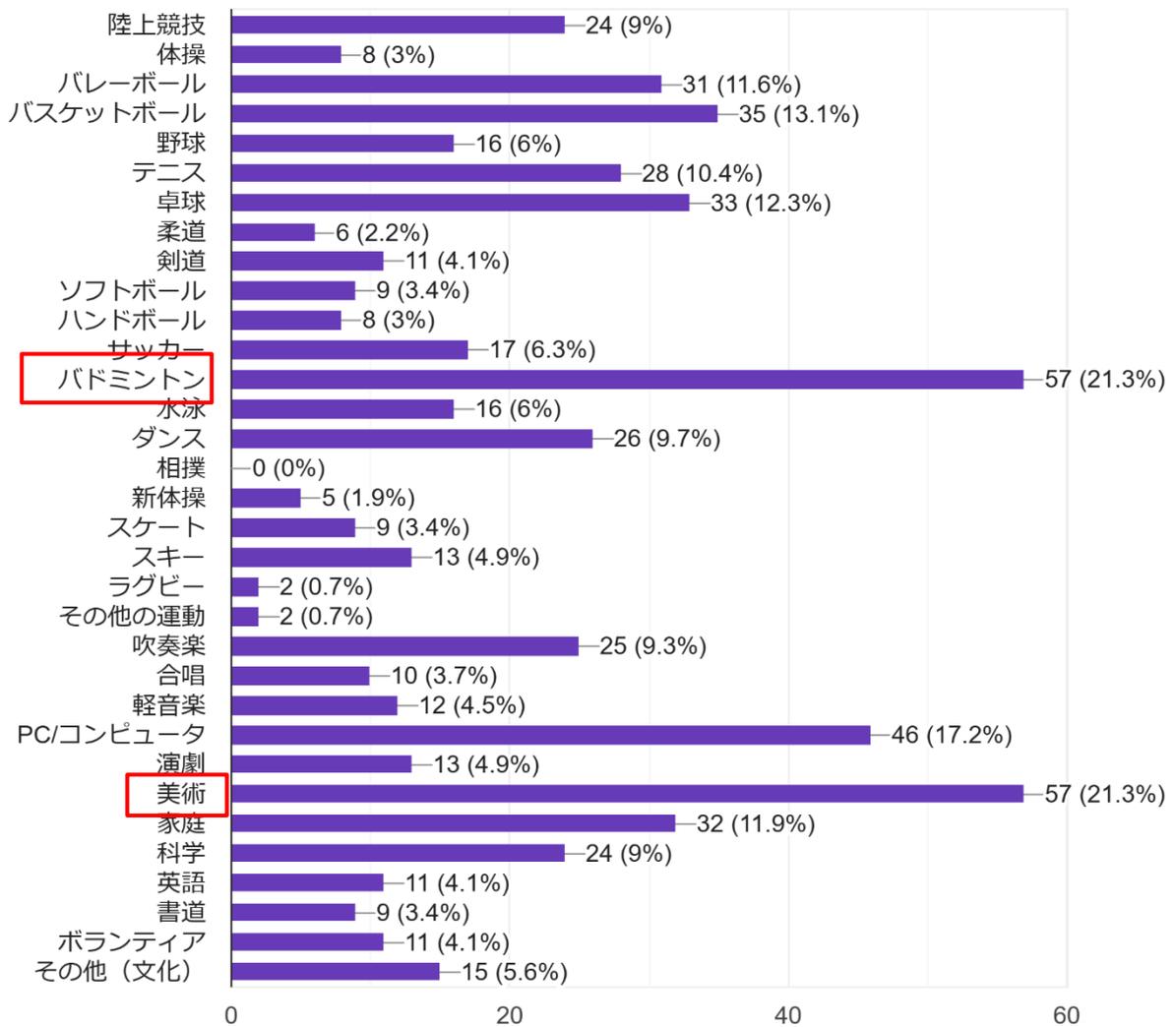


（１０）中学校での部活動は楽しみですか。



- ・「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した児童が約 80% である。
- ・「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」と回答した児童が約 10% である。
- ・「分からない」と回答した児童も 10% 以上いる。

[問4] ※問2で「いいえ」と答えた方にお聞きします。中学生になったらどのような種目の活動をやりたいですか。



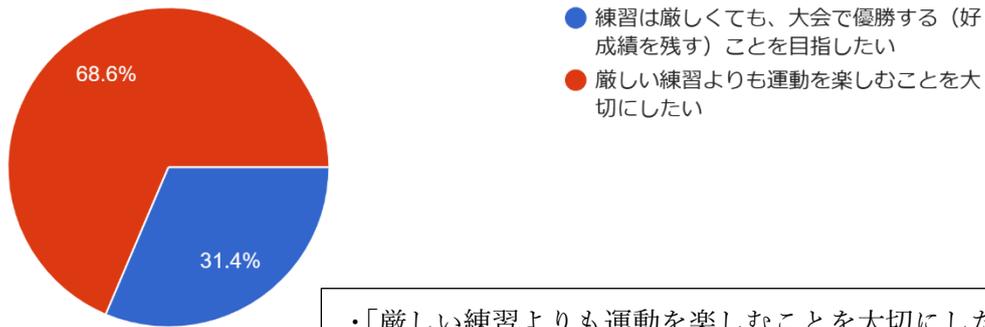
【※問5・6・7・8は全員にお聞きします】

[問5] 中学校での部活動への取組について、どのようにしたいと思っていますか。



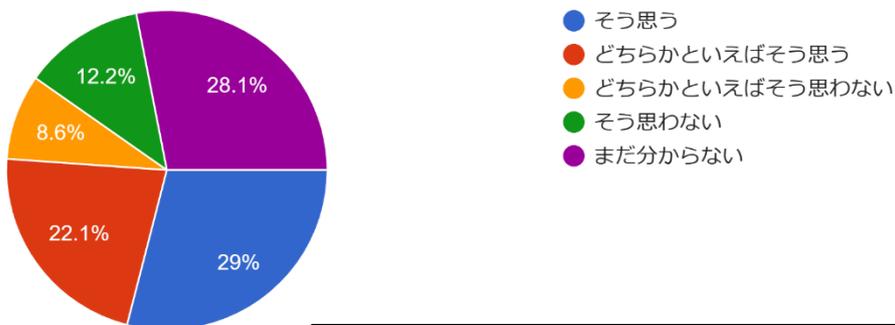
- ・「まだ決めていない」と回答した児童は半数近くいる。
- ・「特に所属するつもりはない」と回答した児童は2.9%いる。

[問6] スポーツに取り組むに当たってあなたの考えはどちらに近いですか。



・「厳しい練習よりも運動を楽しむことを大切にしたい」と考えて児童が68.6%いる。

[問7] 自分がやってみたい活動が中学校の部活動にない場合、地域クラブ等の活動があればやってみたいと思いますか

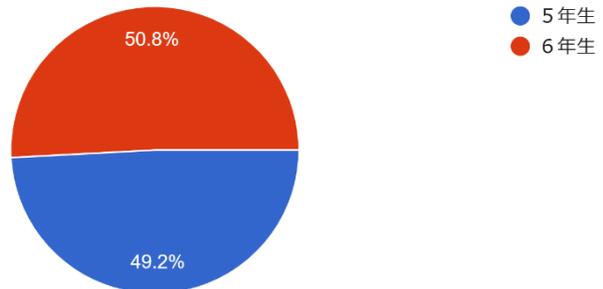


・肯定的な回答が51.1%、否定的な回答が20.8%である。
・「まだ分からない」と回答した児童も28.1%いる。

スポーツ活動・文化芸術活動アンケート（小学校第5・6学年保護者）

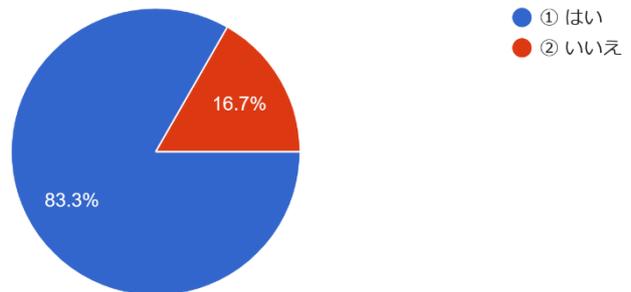
回答数 1148件

〔問1〕 お子さんの学年を選んでください。



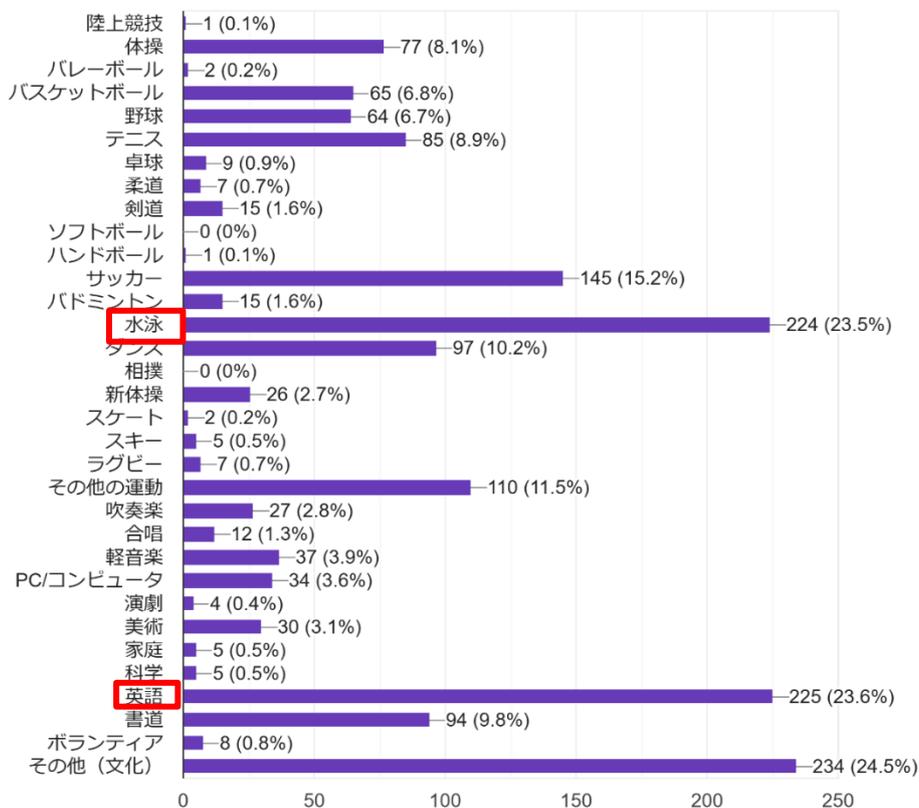
〔問2〕 あなたのお子さんは現在、スポーツ活動や文化芸術活動を行っていますか。

※文化芸術活動：音楽や書道、英語などの活動（塾・教室・クラブなど）のこと

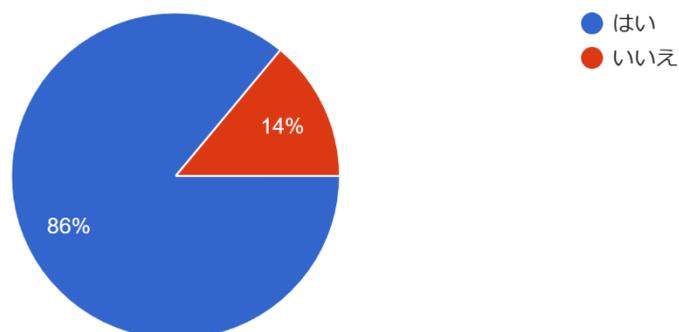


〔問3〕 ※問2で〔①はい〕と答えた方にお聞きします

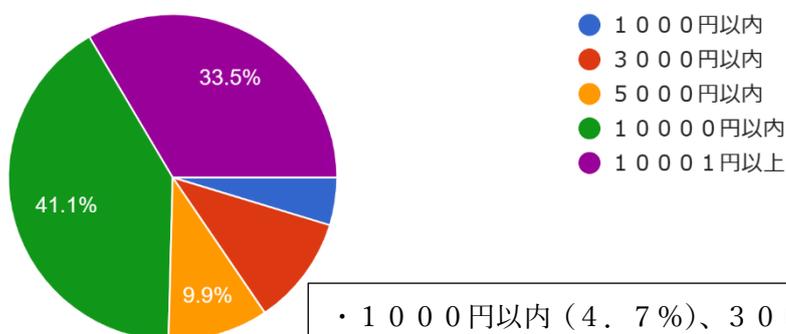
(1) 何の種目の活動を行っていますか（2つ以上選んでもかまいません）



(2) 活動を行うにあたり、個人での活動ではなく、地域のクラブチームに所属したり、教室に通ったりしていますか。

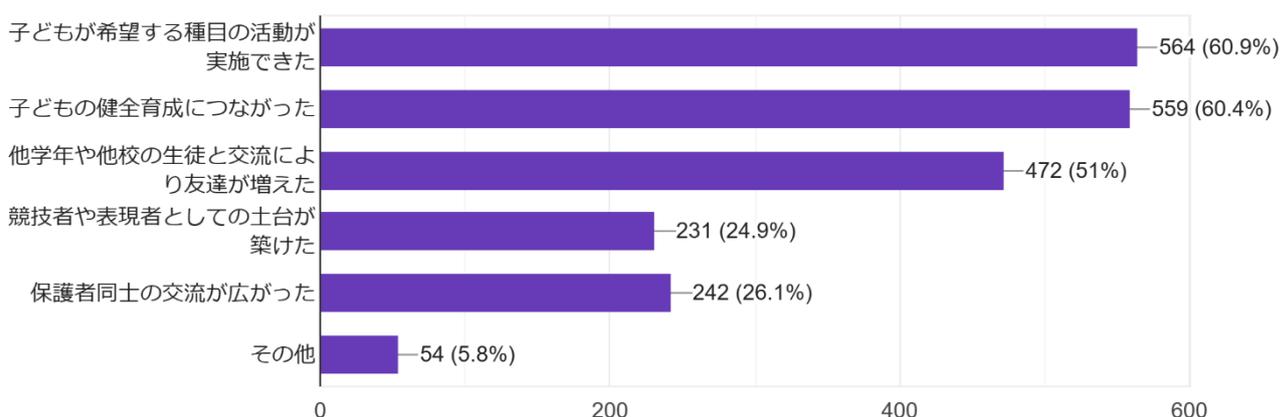


(3) 毎月かかる経費（月謝等）はどのくらいですか。（複数の場合は平均額）



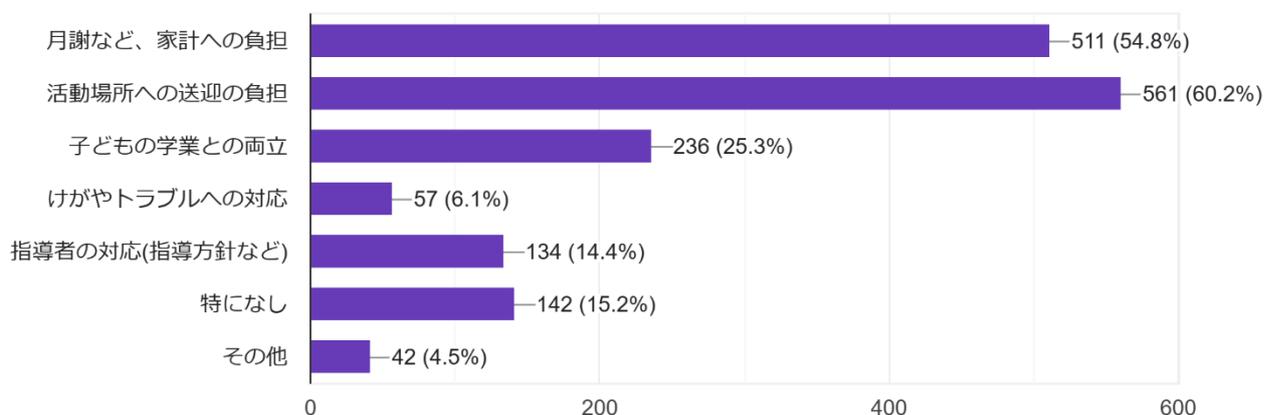
・10000円以内（4.7%）、3000円以内（10.8%）である。
 ・10000円以内が全体の66.5%である。

(4) 地域のクラブチームなどに所属したり、教室へ通ったりすることでよかったことを教えてください。（複数回答可）



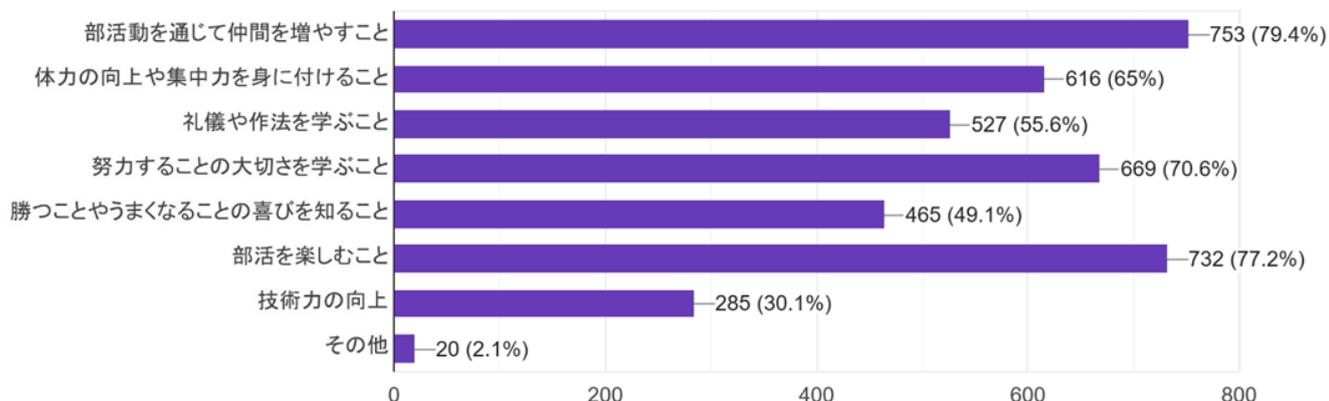
その他の意見として、「より多くの知識や経験を得られたのではないかと思います」「健康増進、体力をつける、持続力が身に付いた」「発表会に参加し人前に出ることに慣れる」「積極性が身に付いたと思う」「夢中になるものができた」や「その日の内容や出来たこと、理解したことを伝えてくれてコミュニケーションが円滑になった」等があった。

(5) 地域のクラブチームなどに所属したり、教室へ通ったりすることで課題に感じたことを教えてください。(複数回答可)



- ・送迎や月謝の負担が課題と感じている保護者が半数以上いる。
- ・その他の意見として、「役員や係など、運営に関わることの負担である」「スケジュールの調整が困難である」「保護者間の人間関係」や「熱中症対策」等があった。

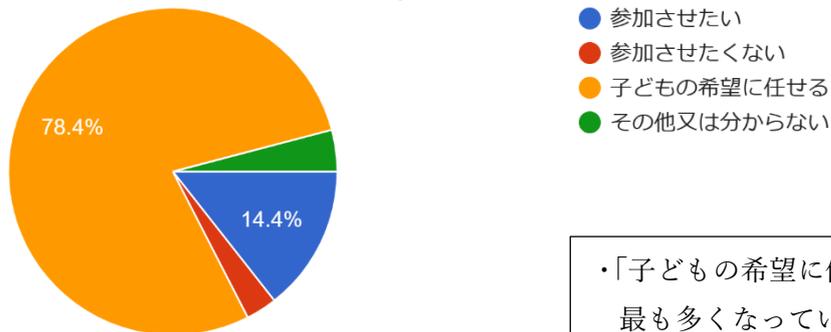
[問4] 中学校の部活動に期待することを教えてください。(複数回答可)



- ・「部活動を通じて仲間を増やすこと」「努力することの大切さを学ぶこと」「部活を楽しむこと」と回答した保護者が70%以上いる。
- ・その他の意見として、「チームやグループで活動する大切さや困難さを学ぶこと」「多様性を認め、個性を發揮できる居場所づくり」「得意な事を見つけ、向上心を養い、遣り遂げる事の喜びと大切さを学ぶ」等があった。

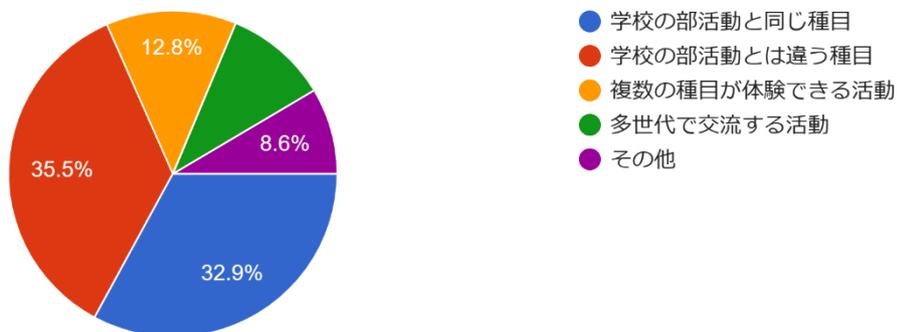
[問5] 全員にお聞きします。

(1) 中学校の部活動が平日のみとなった場合、休日にお子さんを地域クラブ等の活動に参加させたいと思いますか。



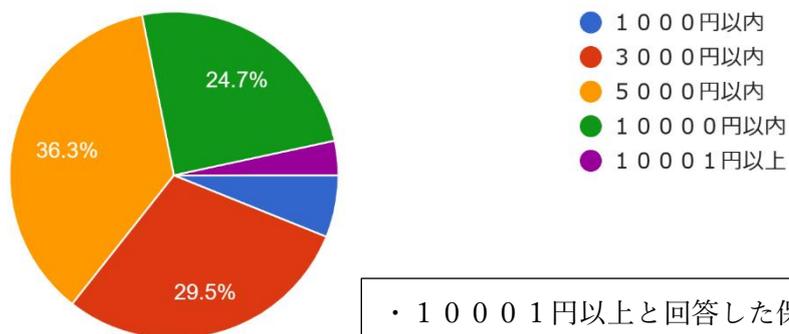
・「子どもの希望に任せる」と回答した割合が最も多くなっている。

(2) 参加させたいと答えた方にお聞きします。それはどのような活動ですか。



・その他の意見として、子どもの意思を尊重する内容が最も多かった。

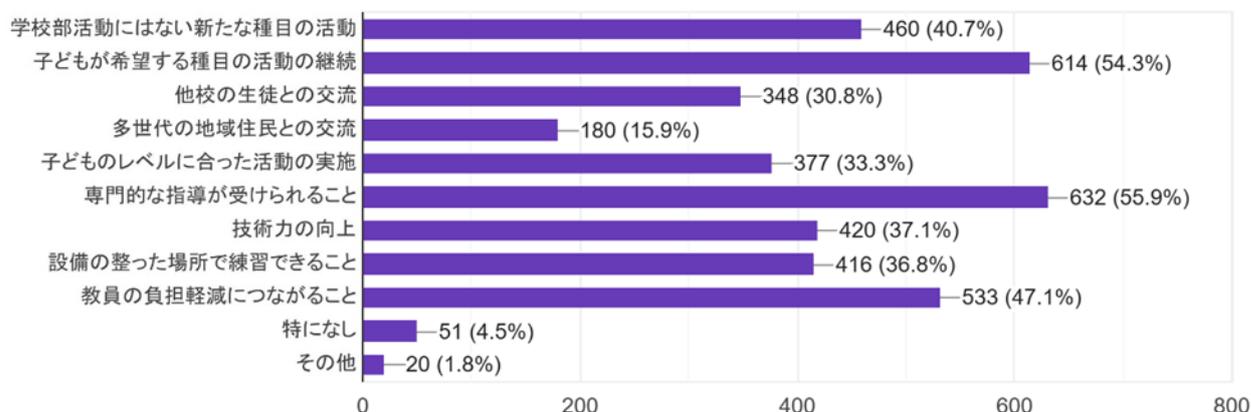
(3) 参加させたいと答えた方にお聞きします。休日の地域クラブ等（地域の団体や指導者）での活動における経費（月謝等）はどの程度が妥当だと思いますか



・10001円以上と回答した保護者は3.4%であった。

(4) 中学校の部活動を地域クラブ等が担うことについて、期待することはありますか。

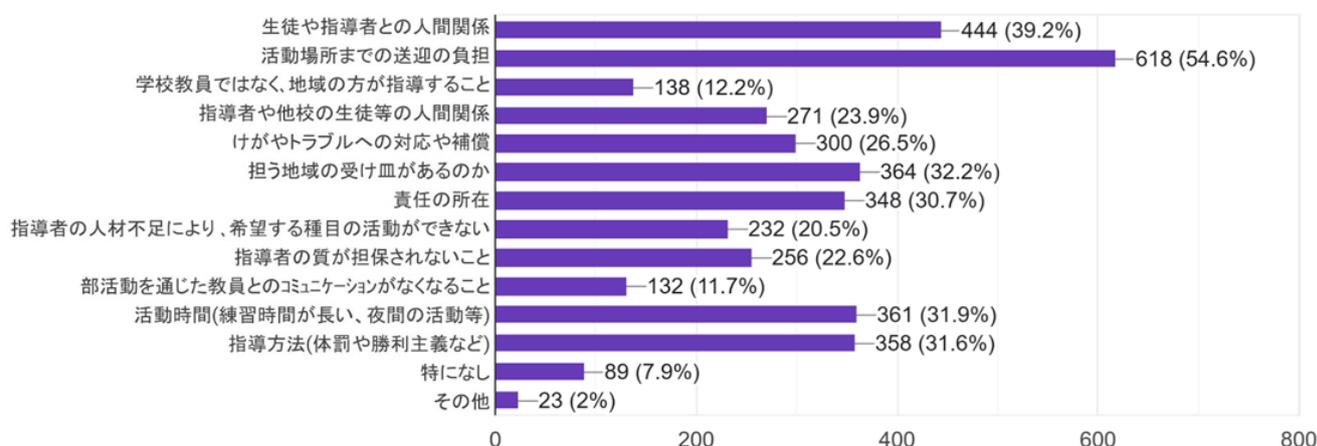
(複数回答可)



- ・その他の意見として、「体制が変わっても、学校側との連携はしっかりとやってほしい」「その種目や競技、安全管理のスペシャリストではない教員が顧問となり指導するよりも、熟知した地域クラブが担当していただけたら、競技や種目のレベルアップだけでなく、安全、指導面に於いても安心できる環境になると思う」「部活動での力関係やトラブルを学業の成績に反映させなくなること」等があった。

(5) 中学校の部活動を地域クラブ等が担うことについて、心配することはありますか。

(複数回答可)

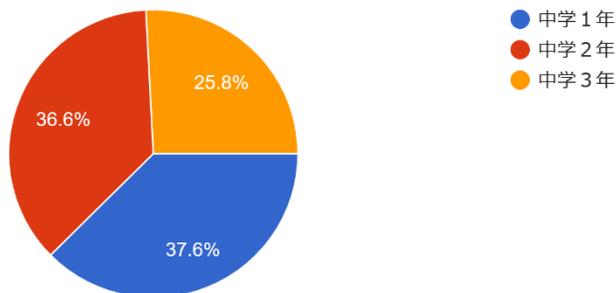


- ・「生徒や指導者との人間関係」や「活動場所までの送迎の負担」について心配と捉えている保護者が多い。
- ・その他の意見として「学校内での団結力の欠如の可能性」「テスト期間は練習なし等、学業への配慮がされるのか」「保護者の負担(金銭やお世話等)で増えるかもしれない」「いじめやトラブルがあったときにきちんと対応できる指導者かどうかわからない」「指導者と合わなかったときに、逃げ場がないのではないかという不安」等の意見があった。

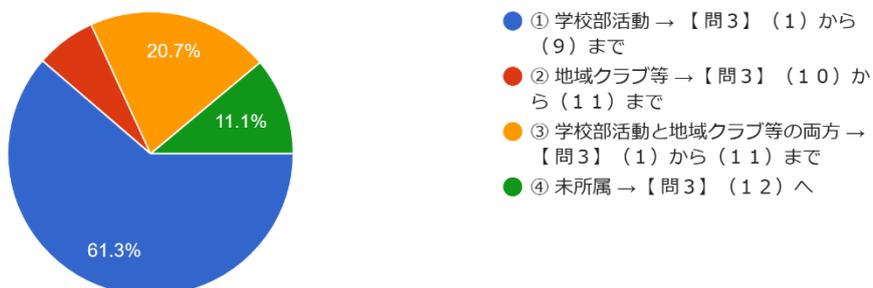
スポーツ活動・文化芸術活動アンケート（中学校第1・2・3学年 生徒）

回答数 1379件

〔問1〕 学年

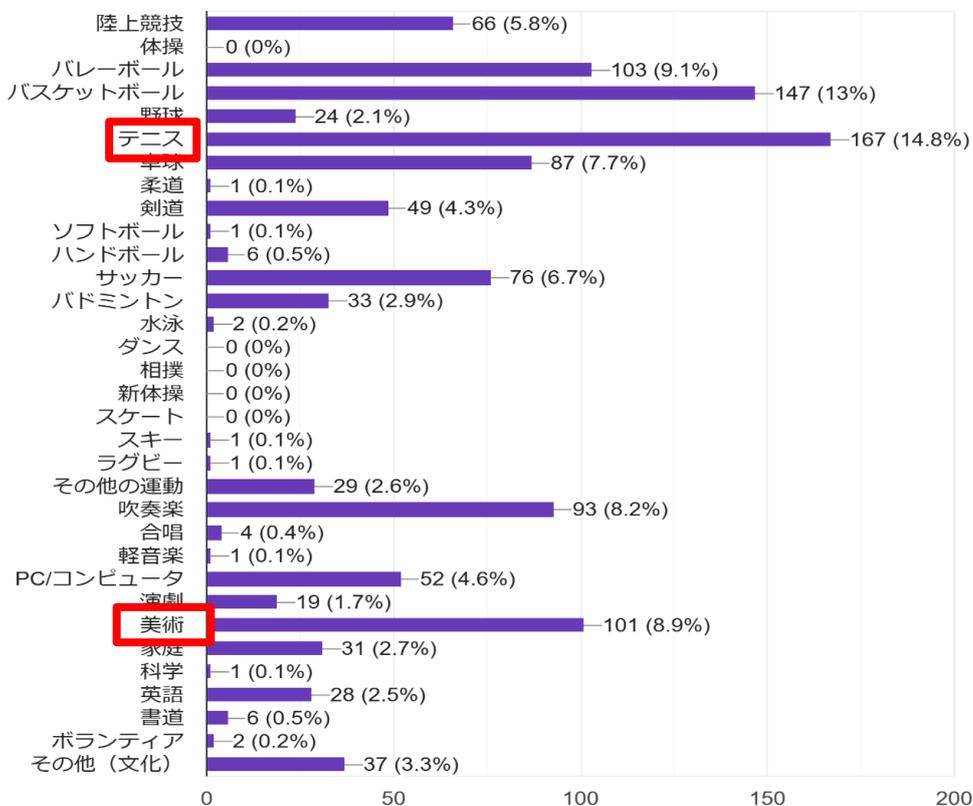


〔問2〕 現在、学校の授業以外でスポーツ活動や文化芸術活動を行っていますか ※文化芸術活動：音楽や書道、英語などの活動（塾・教室・クラブなど）のこと

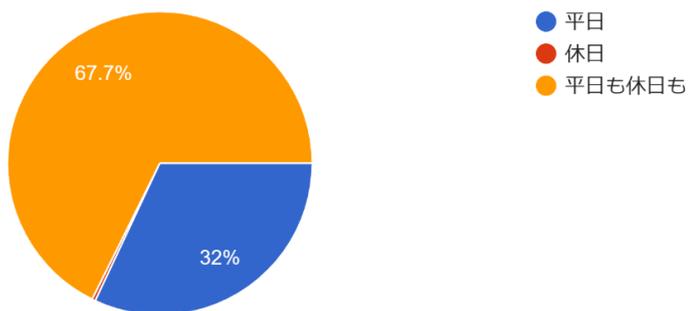


〔問3〕 ※問2で〔①学校部活動〕と答えた方にお聞きします

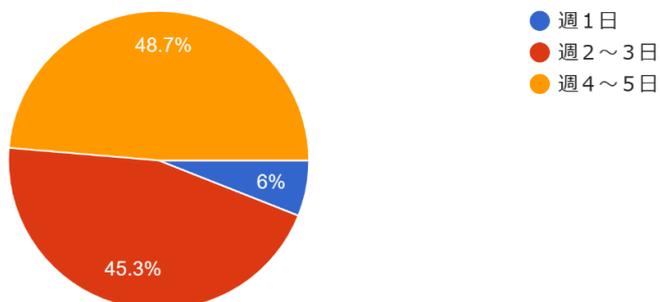
（1）所属している部活動は何ですか（2つ以上選んでもかまいません）



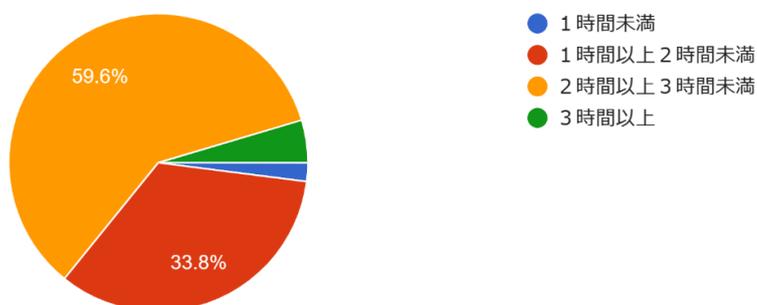
(2) 活動はいつ行っていますか (2つ以上の場合は多いものを教えてください)



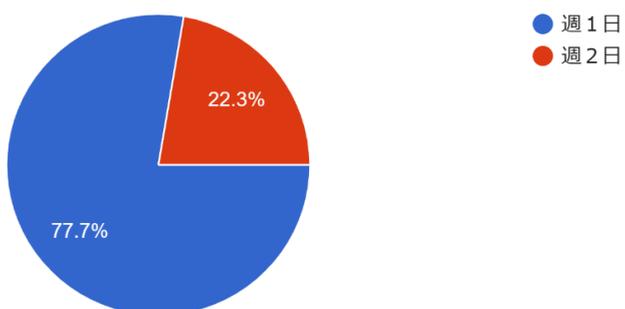
(3) ※平日に活動をしている方にお聞きします。どれくらいの日数、活動していますか



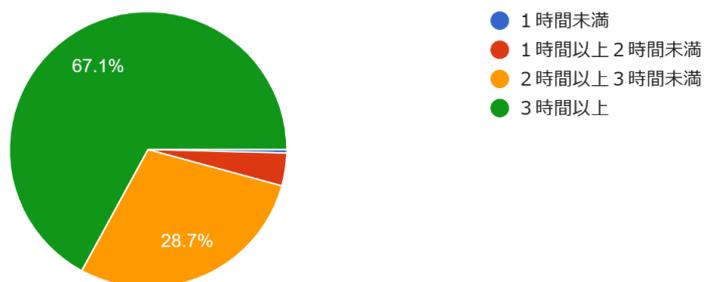
(4) ※平日に活動をしている方にお聞きします。1日にどれくらいの時間、活動していますか



(5) ※休日に活動をしている方にお聞きします。どれくらいの日数、活動していますか

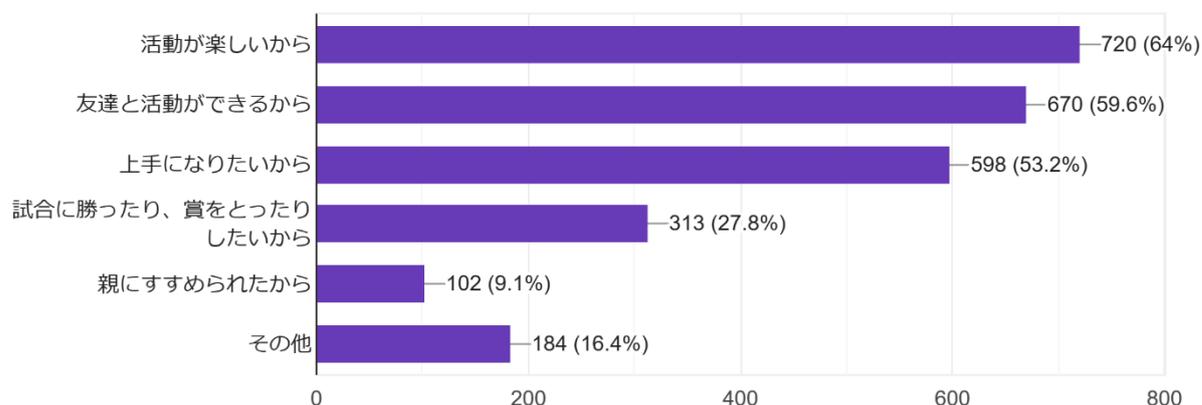


(6) ※休日に活動をしている方にお聞きします。1日にどれくらいの時間、活動していますか



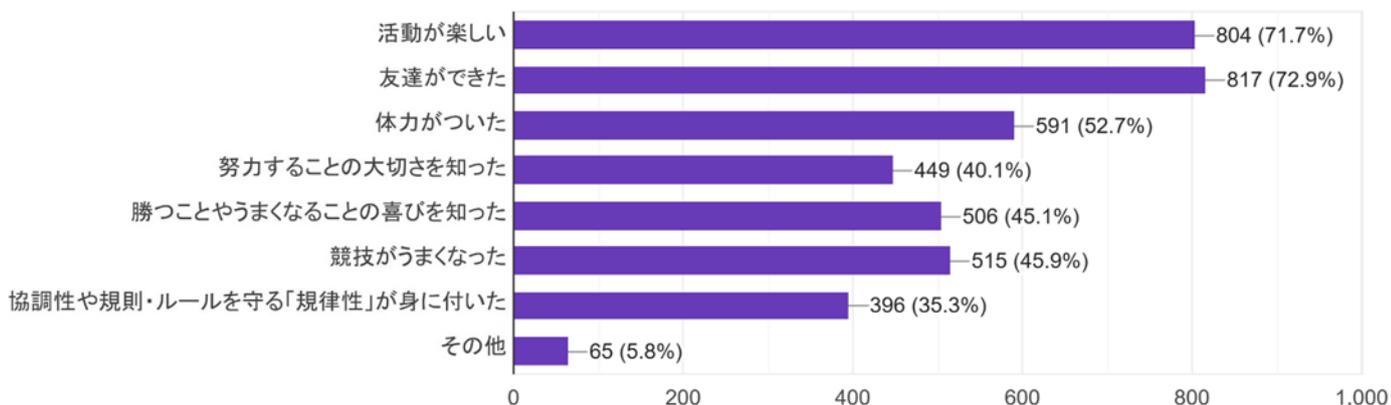
【※(7)と(9)は問3を答えた方全員にお聞きします】

(7) 部活動に入部した理由は何ですか。(複数回答可)



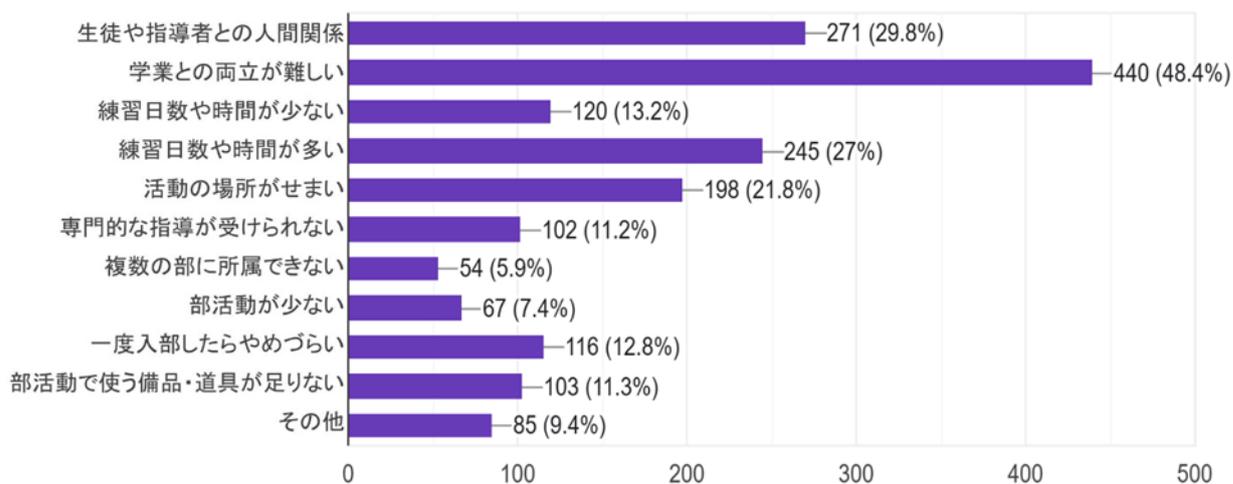
・その他の理由として、「先輩が優しかったから」「友達に誘われた」「習い事の関係で入れる部活がこれしかなかった」「雰囲気良かったから」や「自由で楽しかったから」等があった。

(8) 部活動に所属してよかったことを教えてください。(複数回答可)



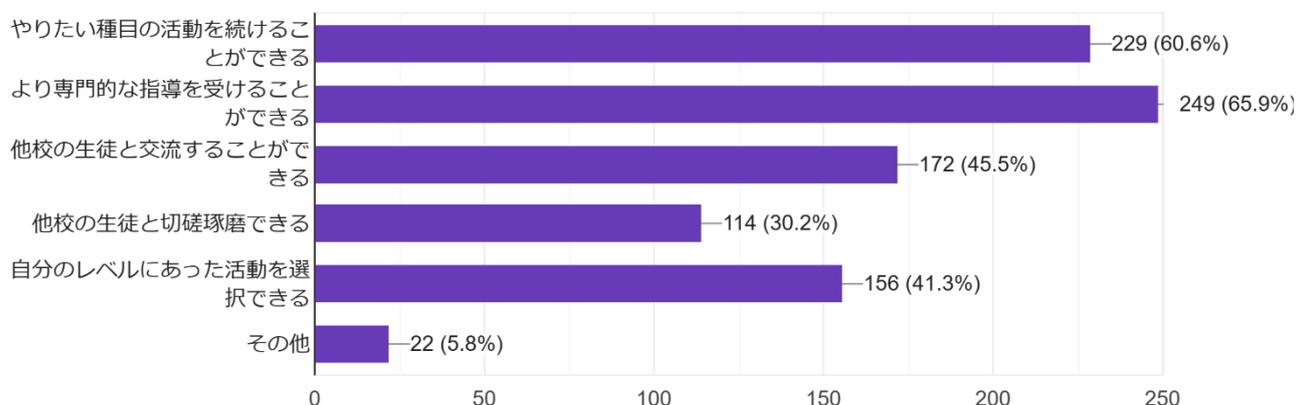
・その他の意見として、「先輩、後輩という関係を学べた」「ライバル心が芽生えた」「みんなで物を作り上げる協力の必要性を知った」「資格を取得することができた」「自分のやりたいことを見つけることができた」「礼儀が身に付いた」や「毎日が充実するようになった」等があった。

(9) 部活動に所属して困ったことを教えてください。(複数回答可)



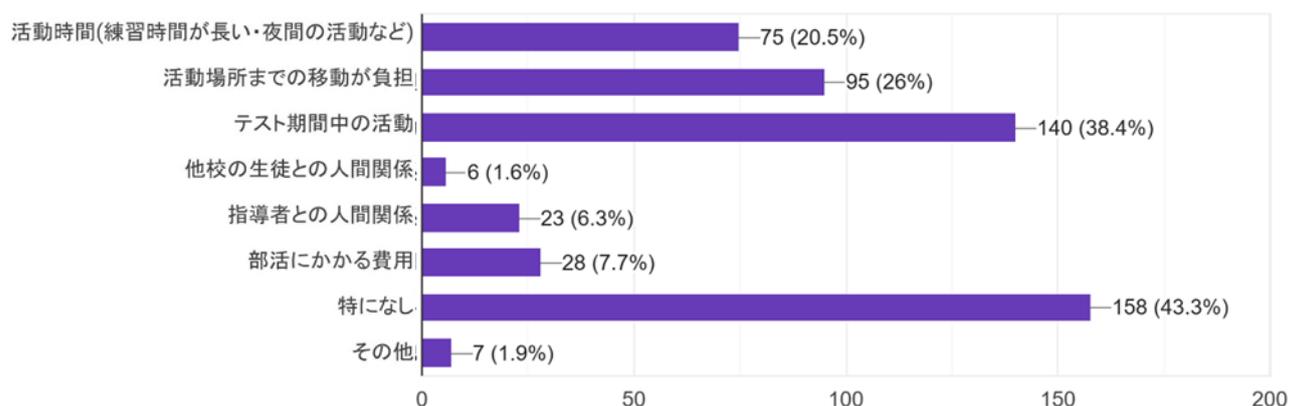
- ・学業との両立が難しいと回答した生徒が約半数いる。
- ・その他の意見として「技術を教えてくれる外部の先生がほしい」「人数が多い」「道具が古い」「もっとやりたい、もとうまくなりたい」や「部活と塾の両立が難しい」等の意見があった。

(10) 地域クラブ等に所属してよかったことを教えてください。(複数回答可)



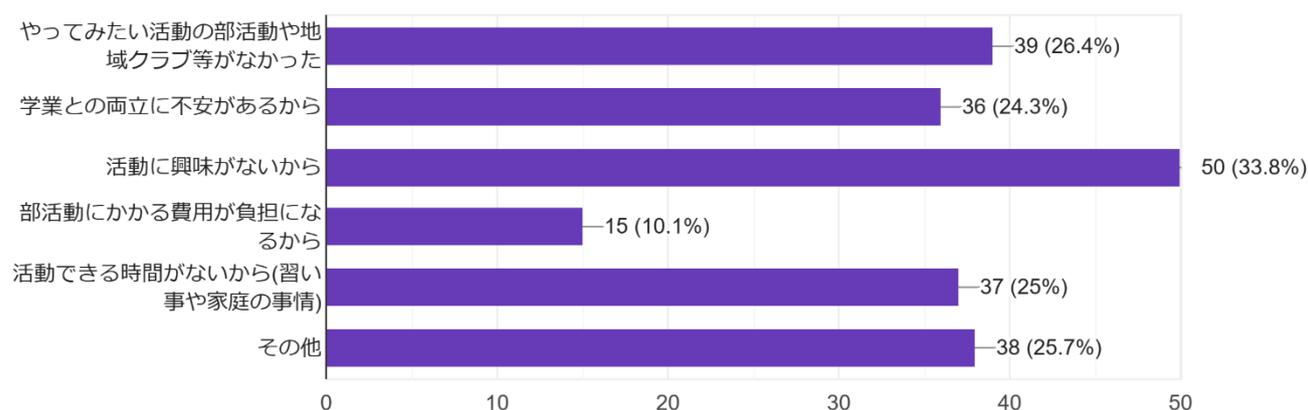
- ・その他の意見として「自分が教わりたい先生に指導してもらえる」「学校でできないことを習っている」「いろいろな世代の人と関わることができる」「得意分野ができた」等があった。

(11) 地域クラブ等に所属して困ったことを教えてください。(複数回答可)



- ・その他の意見として「活動場所にエアコンがなくて暑い」「学校部活動との両立」「部活動の時間とかぶる」や「休む時間が少ない」等の意見があった。

(12) 未所属と答えた方にお聞きします。その理由を教えてください。(複数回答可)

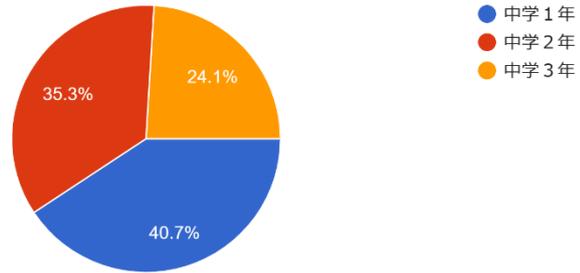


- ・問2で「未所属」と回答した生徒の33.8%が「活動に興味が無いから」と回答している。
- ・その他の理由として「部活動よりも自分の趣味に時間を使いたいから」「自由な時間が失われるから」「一回やってみて効果がなかったから」や「コーチと合わなかったから」等があった。

スポーツ活動・文化芸術活動アンケート（中学校第1・2・3学年 保護者）

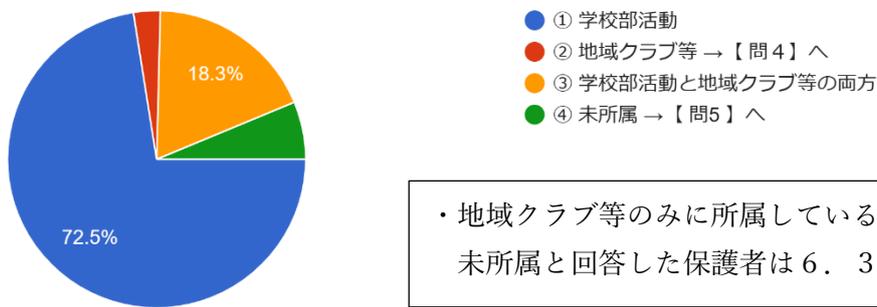
回答数 1520件

[問1] お子さんの学年を選んでください。



[問2] 現在、お子さんが所属している部活動は何ですか。

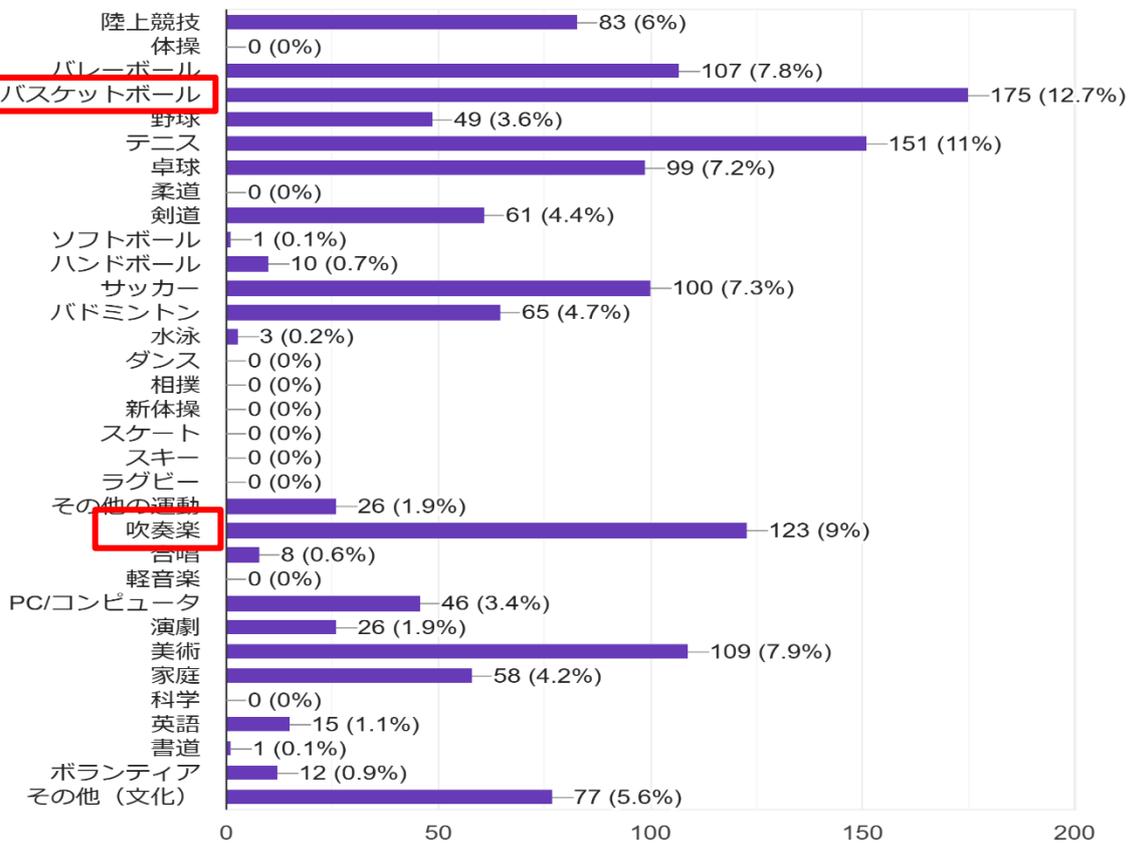
※文化芸術活動：音楽や書道、英語などの活動（塾・教室・クラブなど）のこと



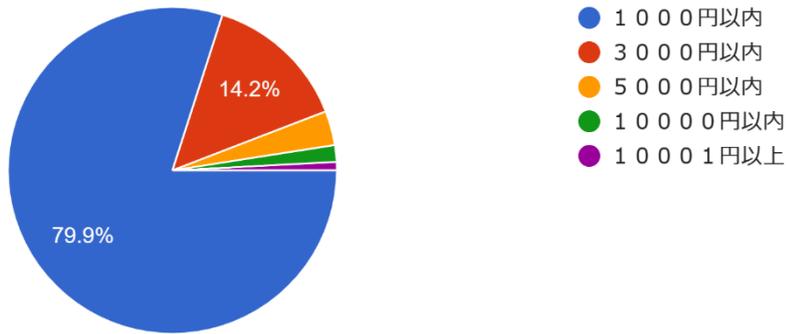
・地域クラブ等のみに所属していると回答した保護者は2.9%、未所属と回答した保護者は6.3%である。

[問3] ※問2で【①学校部活動】と答えた方にお聞きします

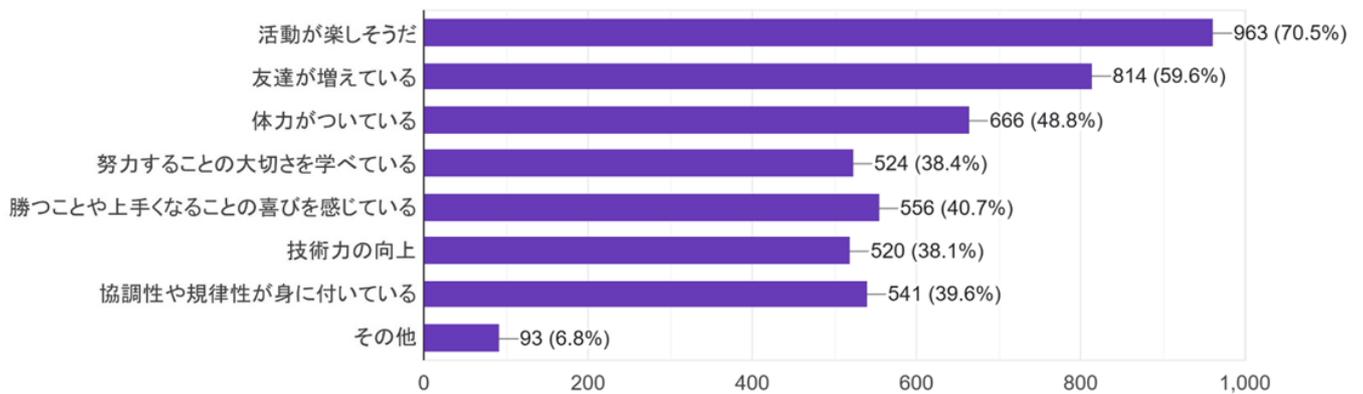
(1) 所属している部活動は何ですか（2つ以上選んでもかまいません）



(2) 毎月の部費はどのくらいですか。

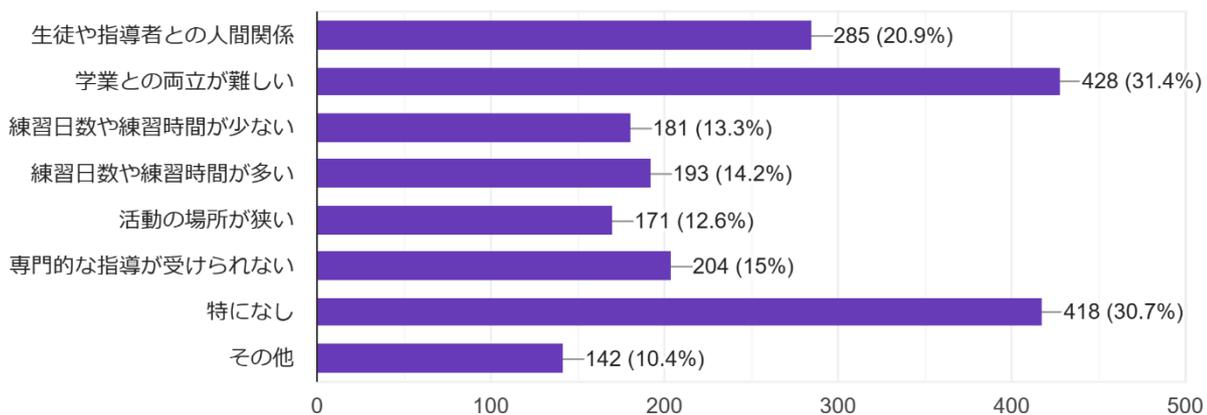


(3) 子どもが学校部活動に所属してよかったことを教えてください。(複数回答可)



・その他の意見として「学年を越えた人との交流がある」「好きな事に自分から打ち込める所が良い」「親も一緒に観戦したり子どもを通して、その競技を勉強できたり楽しんだりできる」「規則正しい生活が送れているやりがいを感じている」「部活があるから学校生活も頑張れていると思う。」等があった。

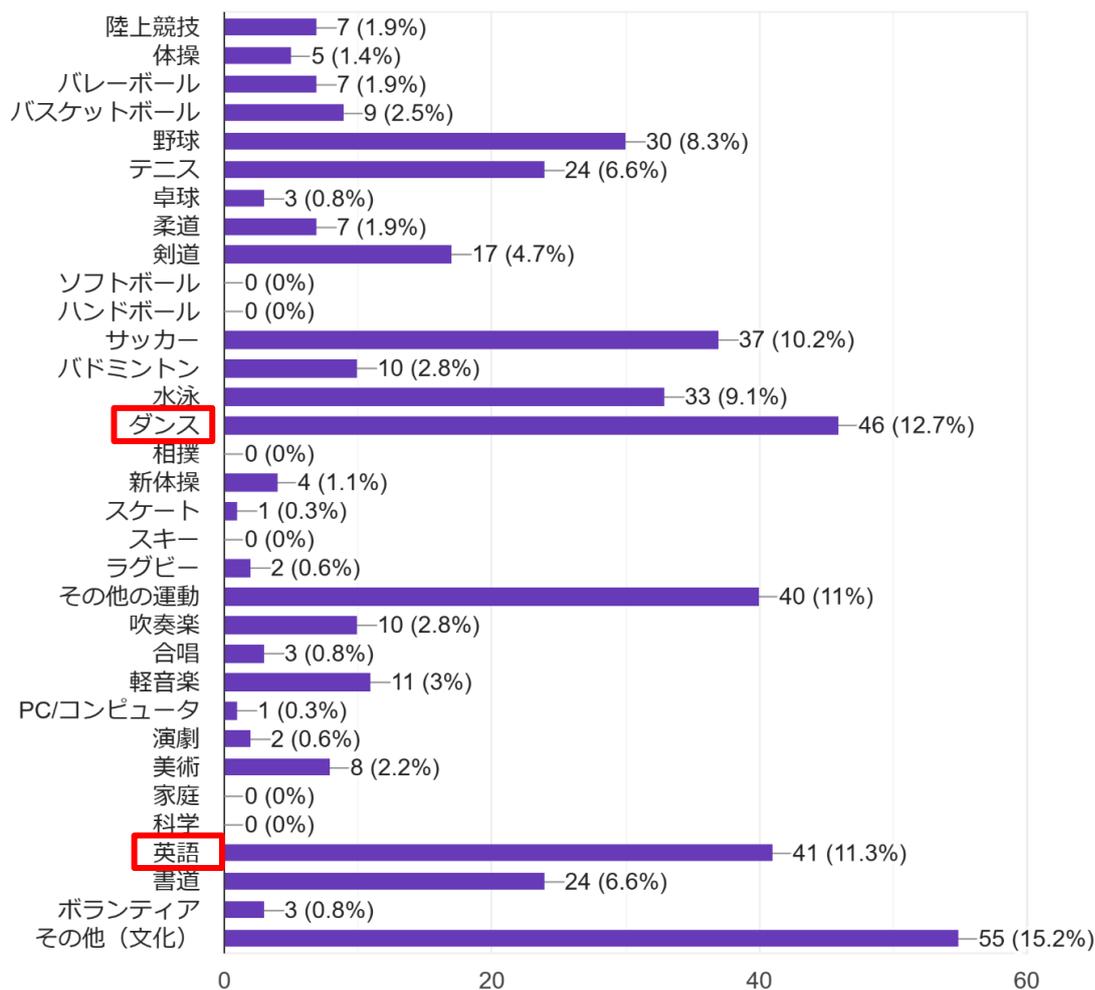
(4) 子どもが部活動に所属して課題に感じたことを教えてください。(複数回答可)



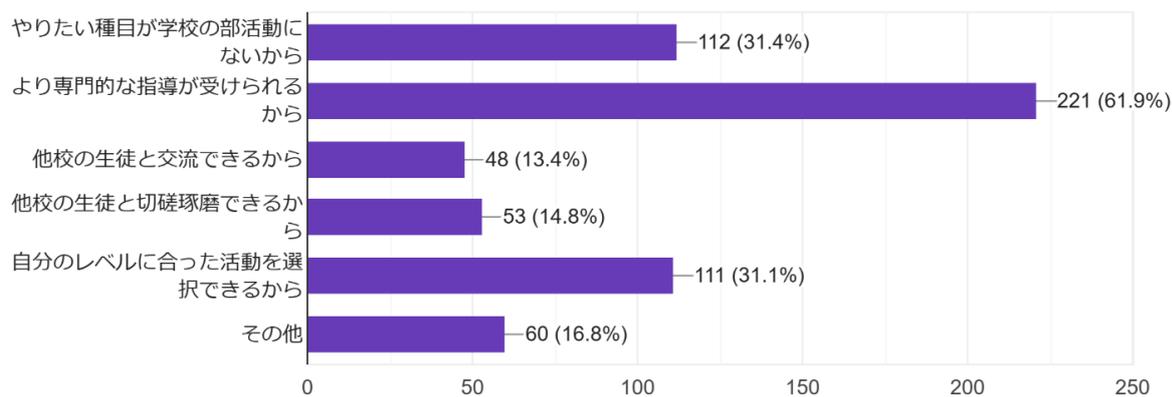
・その他の意見として「先生の時間的な負担が大きすぎる」「天候により左右される。夏は暑すぎて活動は危険と感じる」や「塾、習い事との両立が難しい」等があった。

[問4] 地域クラブ等と答えた方にお聞きします

(1) 地域で活動している種目は何ですか (2つ以上選んでもかまいません)

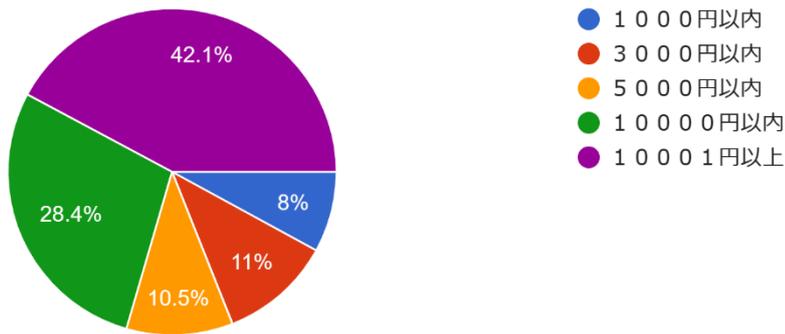


(2) 部活動ではなく、地域クラブ等に所属している理由を教えてください。(複数回答)

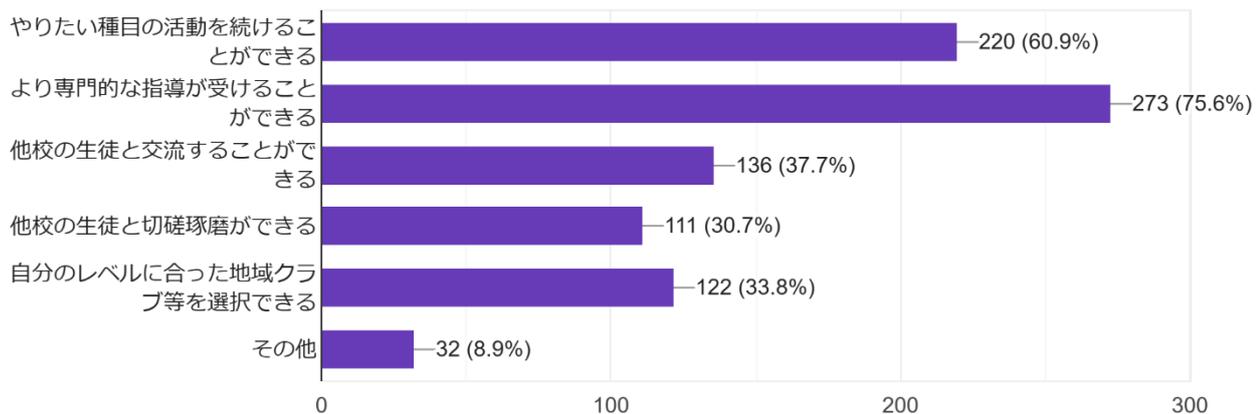


- ・専門的な指導が受けられることを理由として回答した保護者が6割以上いる。
- ・その他の理由として「小学生の時から継続していて、他校の友人もいるから」「学習の時間の確保できるから」や「自分に合った指導を受けられるから」等があった。

(3) 毎月の月謝はどのくらいですか

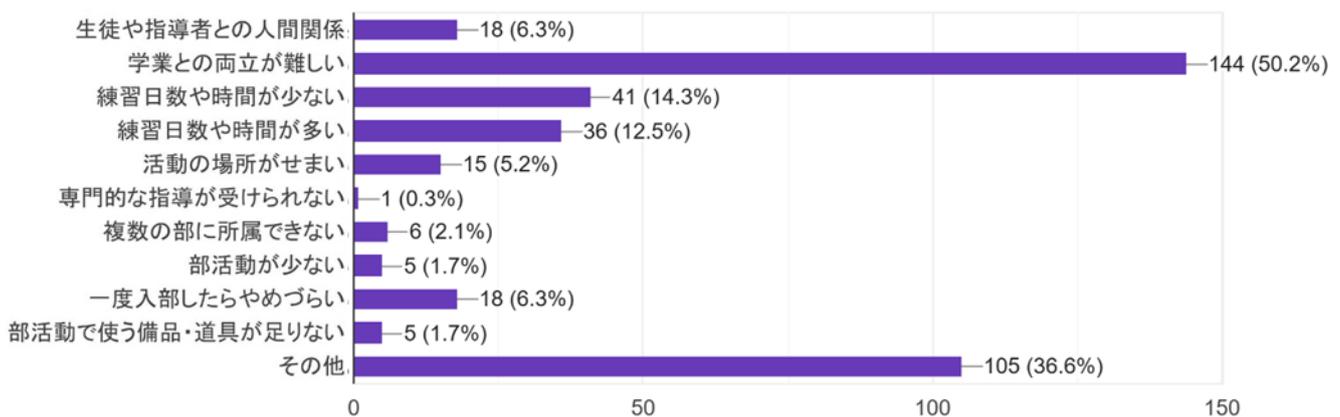


(4) 子どもが地域クラブ等に所属してよかったことを教えてください。(複数回答可)



・その他の意見として「地域の人達と交流できる」「体力の向上と継続することの大切さを学んでいる」「勉強の先取りができる」「日時の融通がきく」や「部活動で足りないことを補える」等があった。

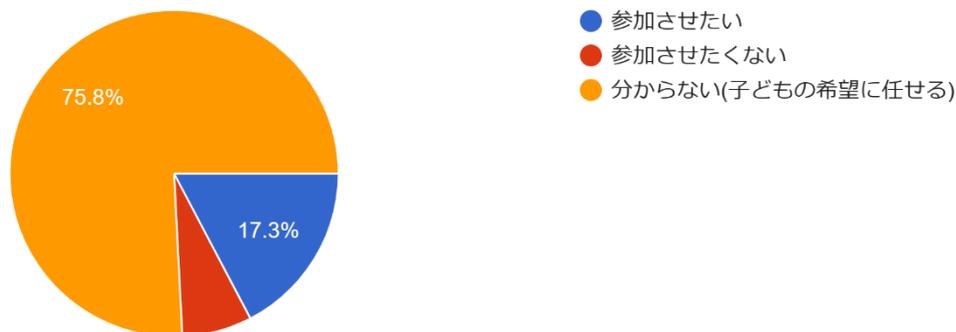
(5) 子どもが地域クラブ等に所属して困ったことを教えてください。(複数回答可)



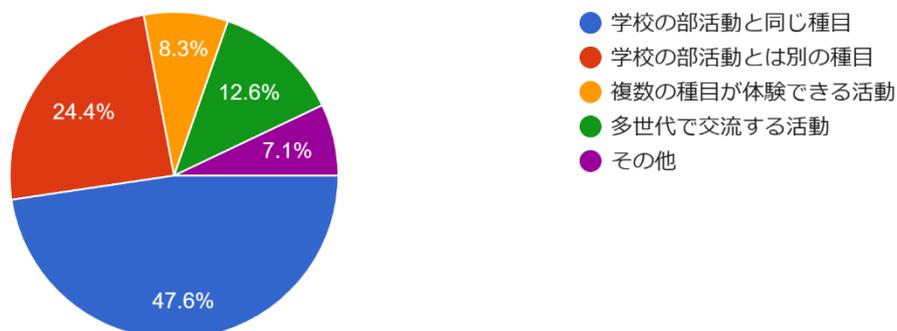
・その他の意見として「送迎が必要、月謝が高い」「帰りが夜遅くなる」「部活動や勉強との両立が難しい」「学校行事、練習試合との調整」や「テスト期間と大会などが重なることがある」等があった。

[問5] 全員にお聞きします。

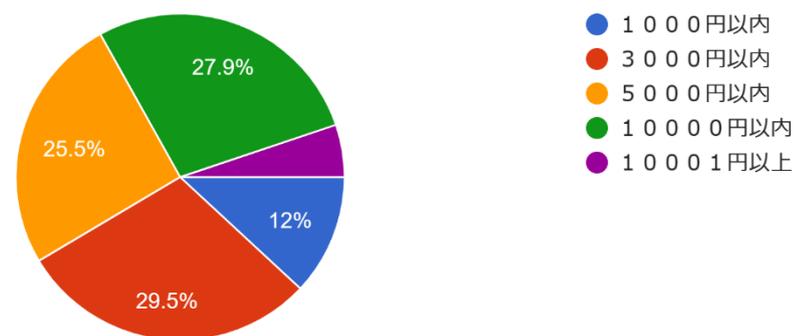
(1) 中学校の部活動が平日のみとなった場合、休日にお子さんを地域クラブ等の活動に参加させたいと思いますか



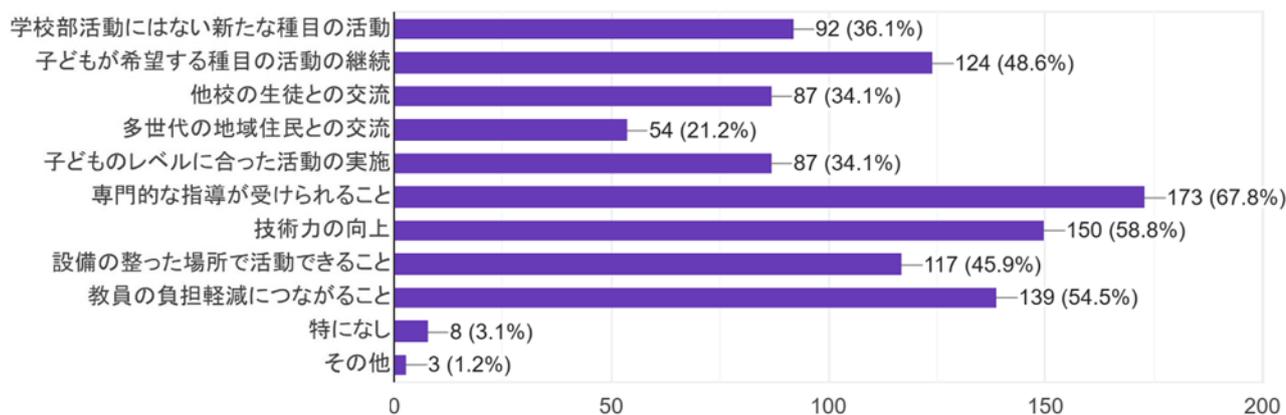
(2) 「参加させたい」と答えた方にお聞きします。それはどのような活動ですか。



(3) 地域クラブ等での活動にかかる経費（月謝等）はどの程度が妥当だと思いますか。

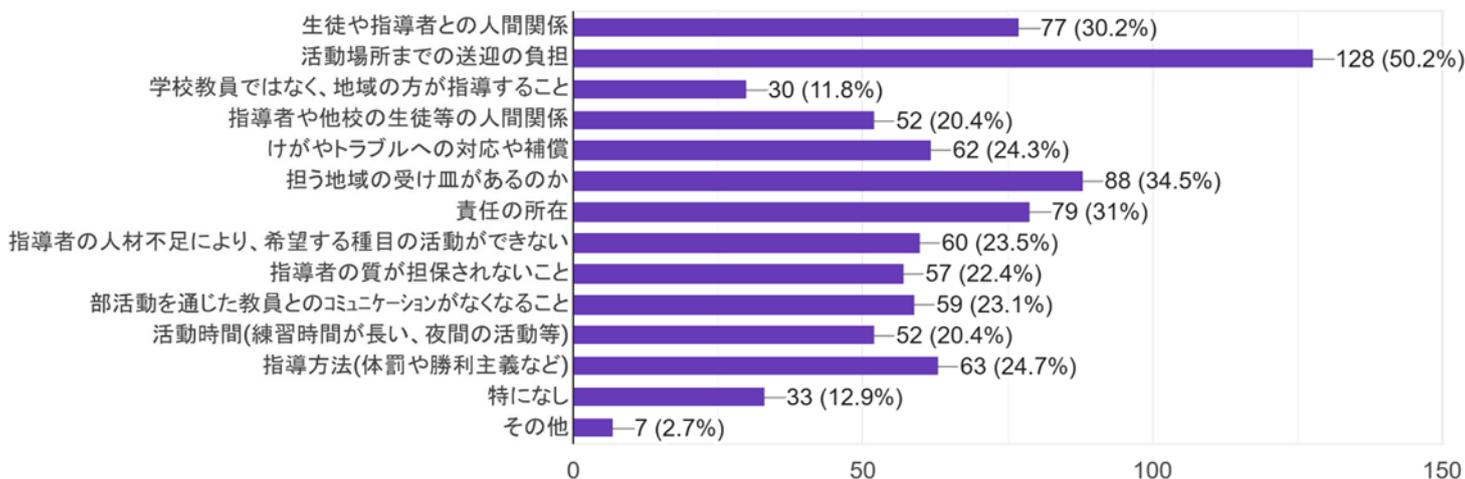


(4) 中学校の部活動を地域クラブ等が担うことについて、期待することはありますか。(複数回答可)



徒歩、自転車で通えるところ。電車しか選択肢がなければ市内位の近いところがよい。

(5) 中学校の部活動を地域クラブ等が担うことについて、心配することはありませんか。(複数回答可)



- ・「活動場所までの送迎の負担」が最も多い回答である。
- ・その他の意見として「外部顧問を増やしてほしい」「地域のクラブへ行く場合、小平市は自転車移動が不可の為、電車、バス、歩きになると体力的にも負担になるのではないか」「金銭的な負担が増えるのであれば、スポーツや芸術活動から離れる子が増えるのは避けられないと思う」「発達やコミュニケーションに課題のある子達が、部活に居場所を見出している事も多々あるが、地域移行になると、理解ができない、行動ができないなどといったことに個別に丁寧に対応してもらえないのか心配である」等があった。

スポーツ活動・文化芸術活動アンケート（中学校教員）

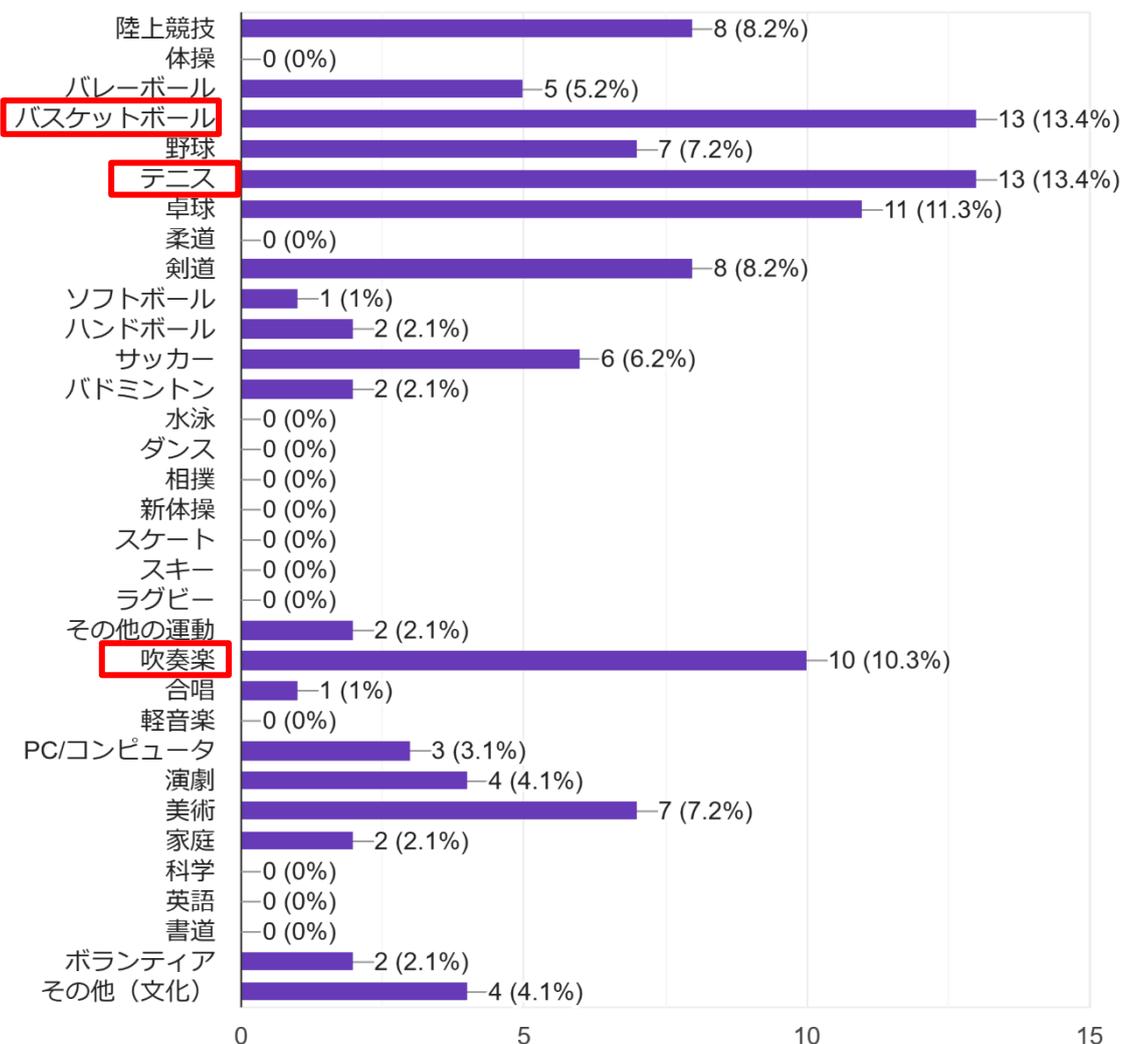
回答数 126件

[問1] 現在のあなたの部活動の指導状況について

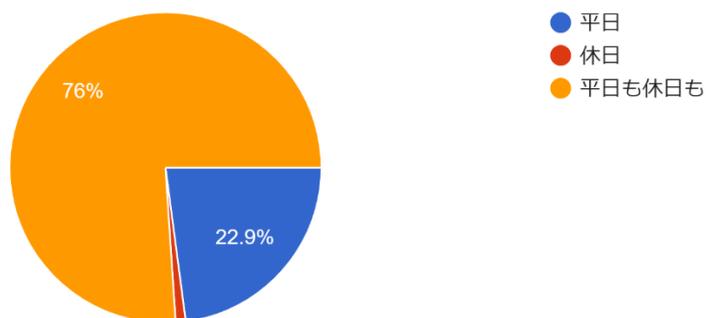


[問2] 「①顧問または副顧問」と答えた方にお聞きします。

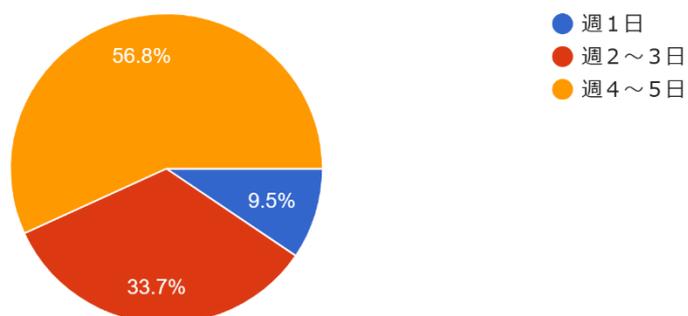
(1) 現在、日常的に指導している種目は何ですか。



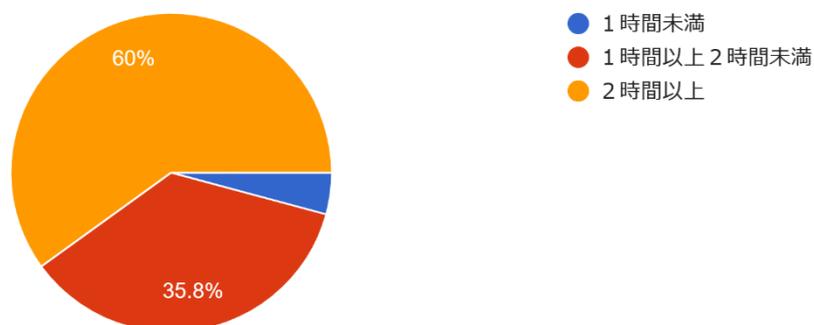
(2) 指導の状況について教えてください。



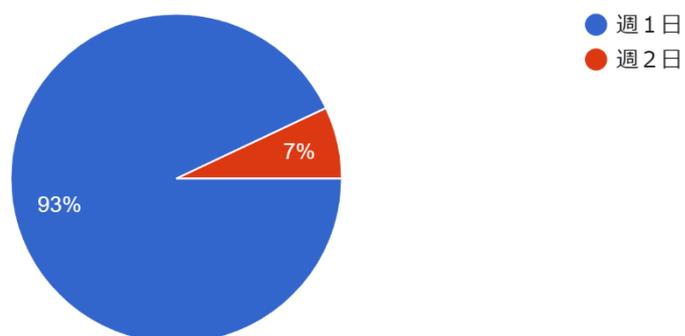
(3) 平日に指導をしている方にお聞きします。どれくらいの日数、指導していますか。



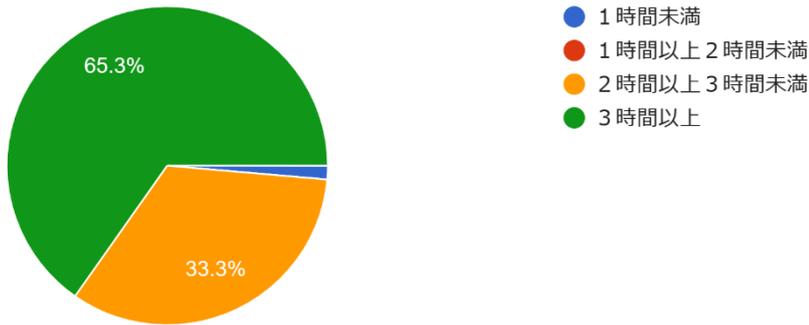
(4) 1日あたりの部活動の指導時間はどのくらいですか。



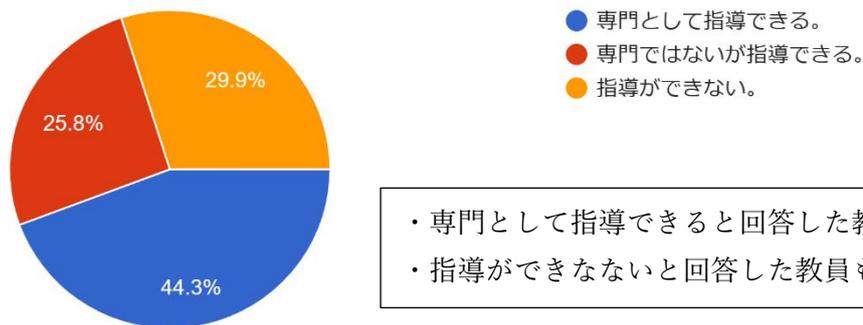
(5) 休日に指導している方にお聞きします。どれくらいの日数、指導していますか。



(6) 休日の1日あたりの部活動の指導時間はどのくらいですか。

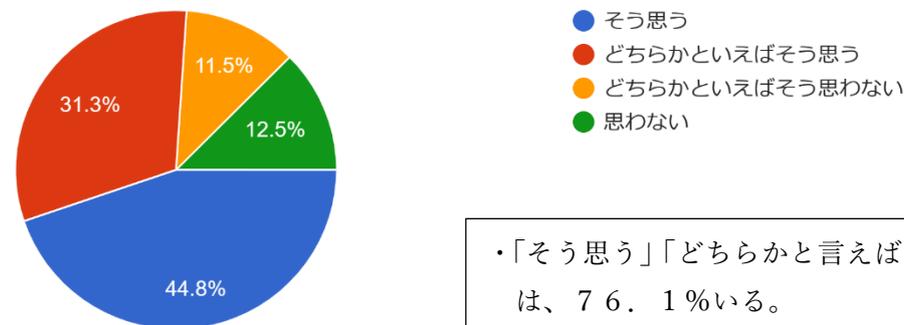


(7) 現在担当している部の指導について教えてください。



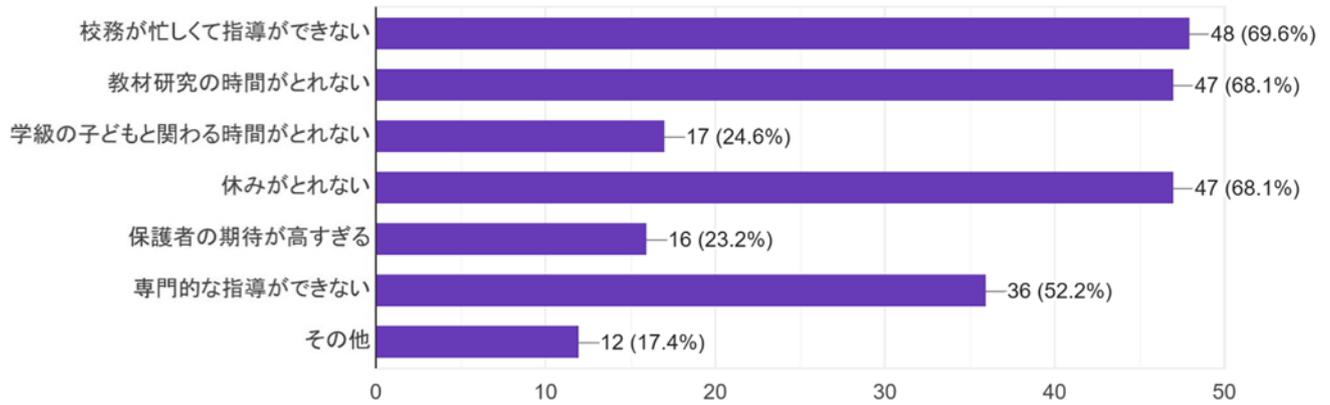
- ・専門として指導できると回答した教員が44.3%である。
- ・指導ができないと回答した教員も29.9%いる。

(8) 部活動の指導に負担を感じていますか。



- ・「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した教員は、76.1%いる。

(9) 「はい」と答えた方に聞きます。どのようなことに負担を感じていますか。(複数回答可)



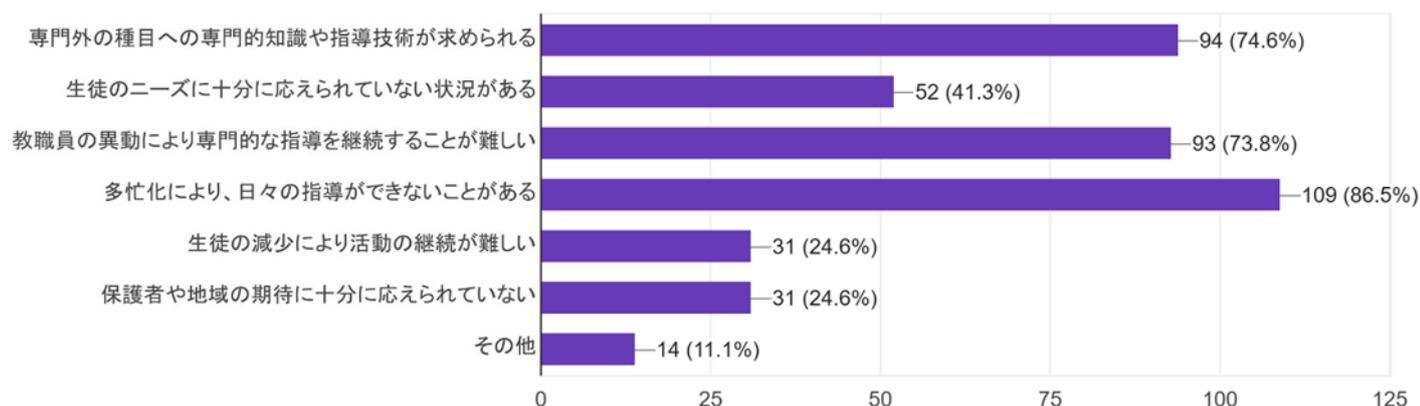
- ・「休みが取れない」「校務が忙しくて指導ができない」「教材研究の時間が取れない」等を負担に感じている教員が6割以上いる。
- ・その他の内容として「指導ができないにもかかわらず、何かしら担当しなければならないこと」「活動するとトラブル対応が伴う」や「トラブルが無くても勤務時間を超える」等の意見があった。

[問3] 学校部活動の意義・必要性について、どう考えますか。



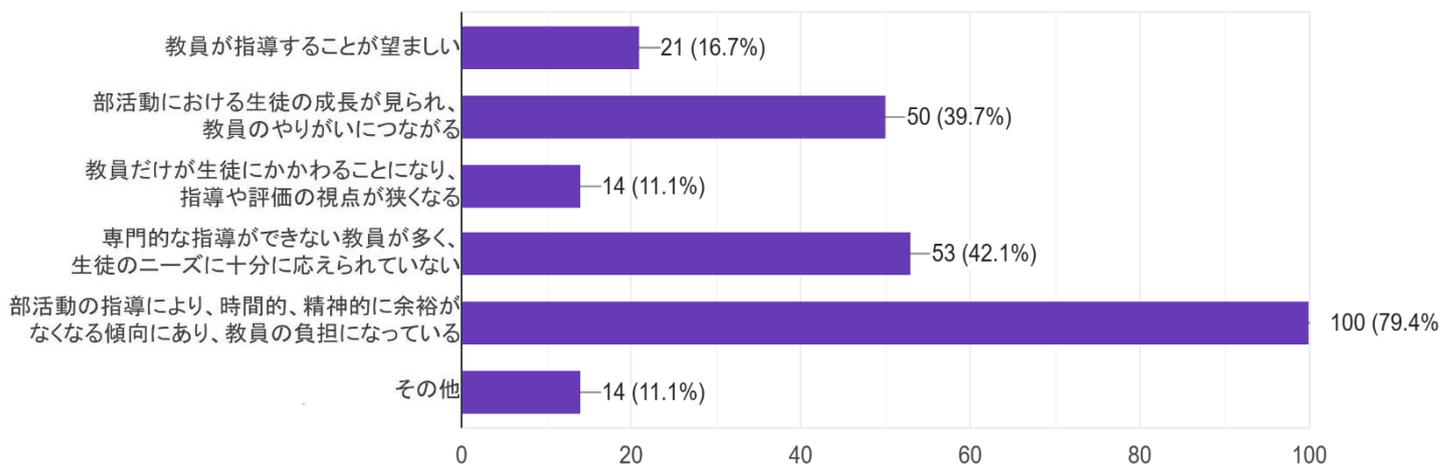
・その他の内容として「授業や校務が疎かになってしまう場面が少しでもあるなら、まずやるべきではない」「部活動を実施するのであれば学校管理の下で行うべきであるが、あくまでも教員の自主性で実施すべきで、強制はすべきでない」等の意見があった。

[問4] 部活動の課題と感じていることを教えてください。（複数回答可）



・その他の意見として「勤務時間の超過」「土日に大会があると、朝から夕方まで役員として運営に協力しないといけないことがあり、授業のことなどを考えると平日にも休暇を取れない」等があった。

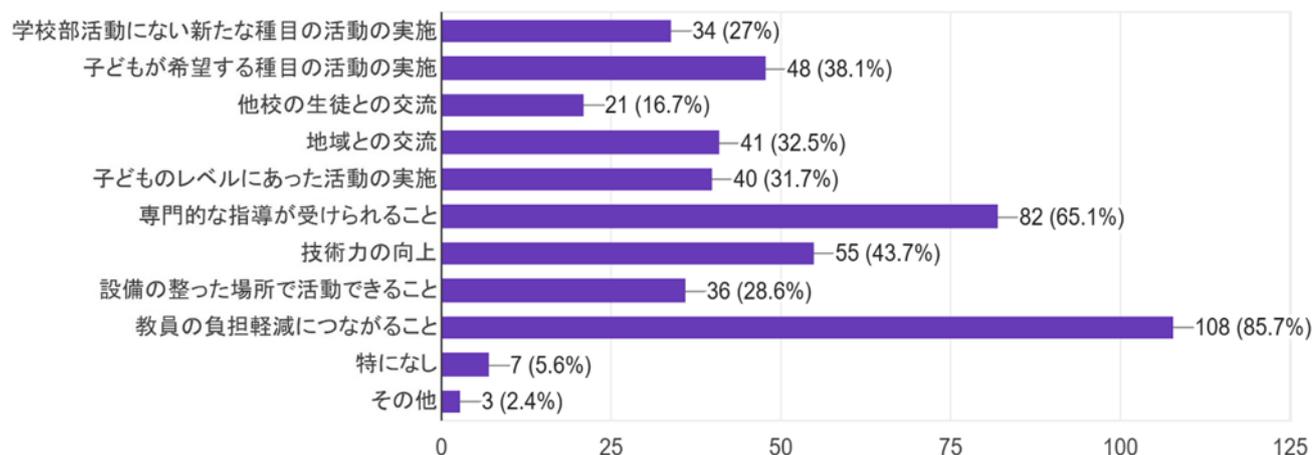
[問5] 教員が部活動の指導を行うことについてどう考えますか。(複数回答可)



・その他の考えとして「然るべき手当を支払って、教員含めやりたい人だけが取り組めるように制度を整えるべき」「負担が大きいため、教員が行うべきではない」「選択制にするべき」等の意見があった。

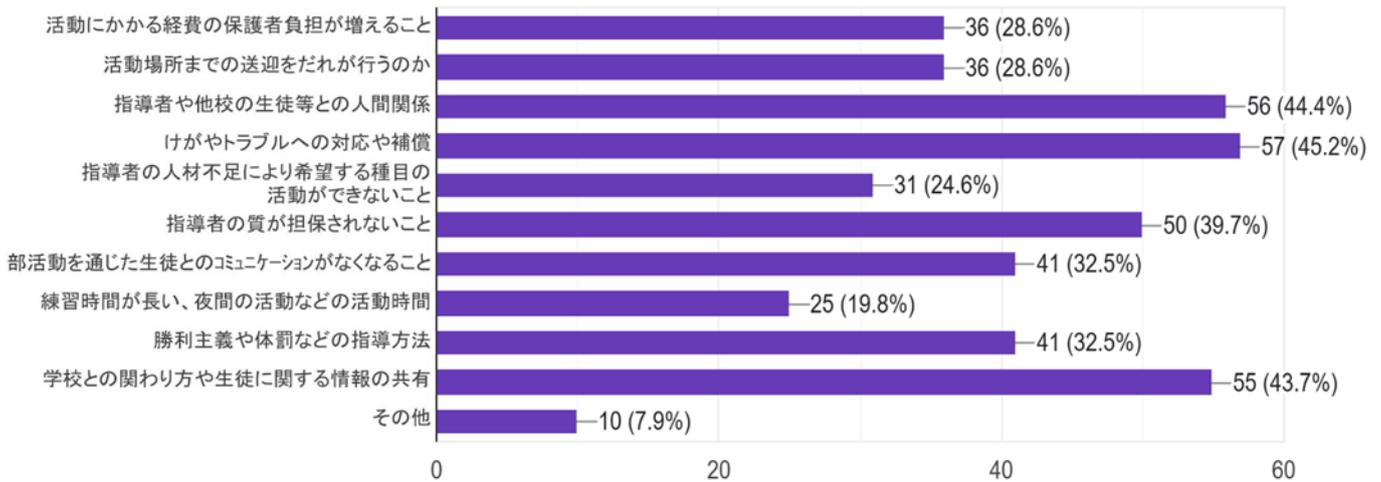
[問6] 学校部活動を地域クラブ等が担うことについて

(1) 期待することはありますか。(複数回答可)

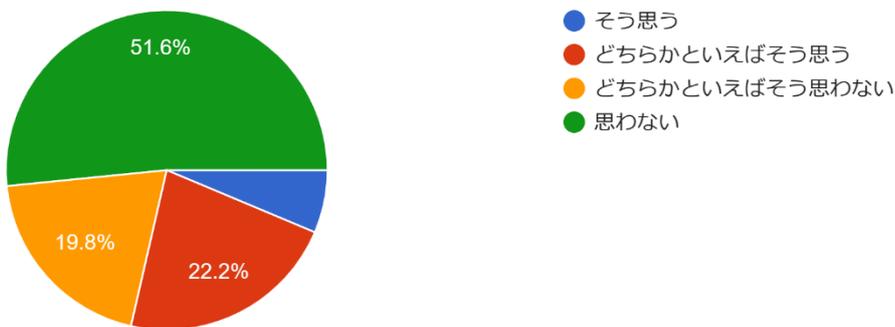


・「教員の負担軽減につながる」「専門的な指導が受けられること」について期待する教員が多い。

(2) 心配することはありますか。(複数回答可)

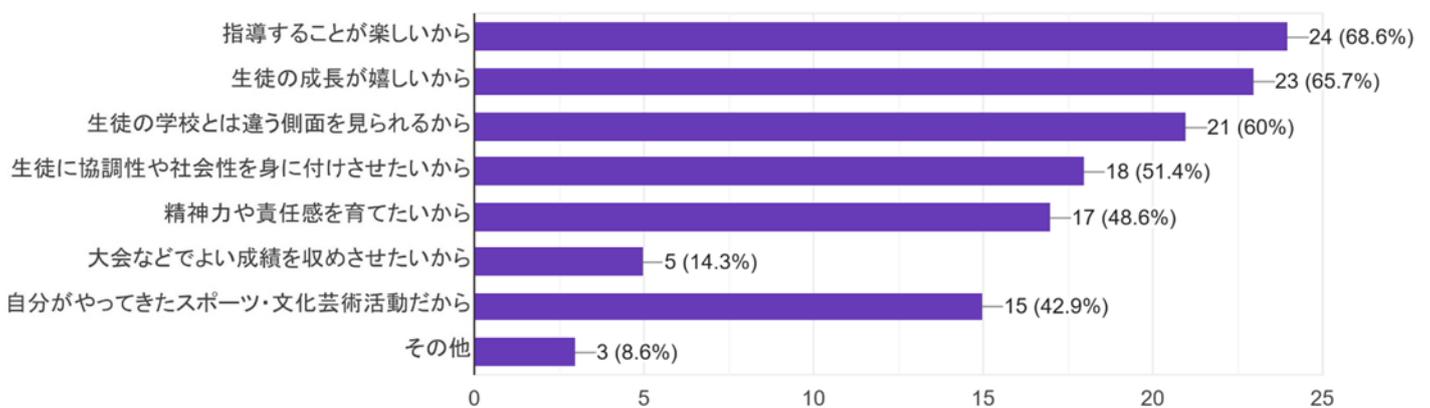


[問7] 部活動を地域クラブ等が担うこととなった場合、ご自身が地域の指導者として関わりたいとお考えですか。

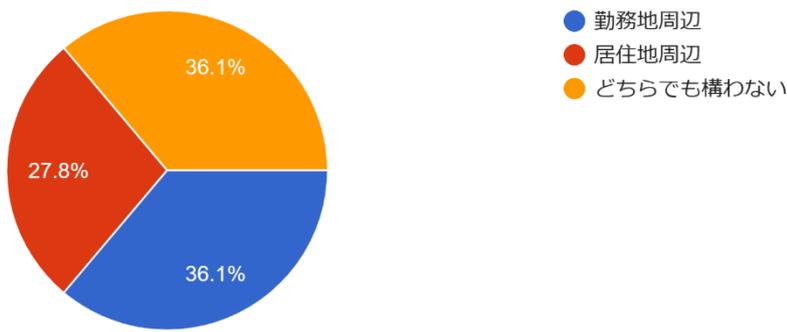


[問8] 「はい」と答えた方にお聞きします。

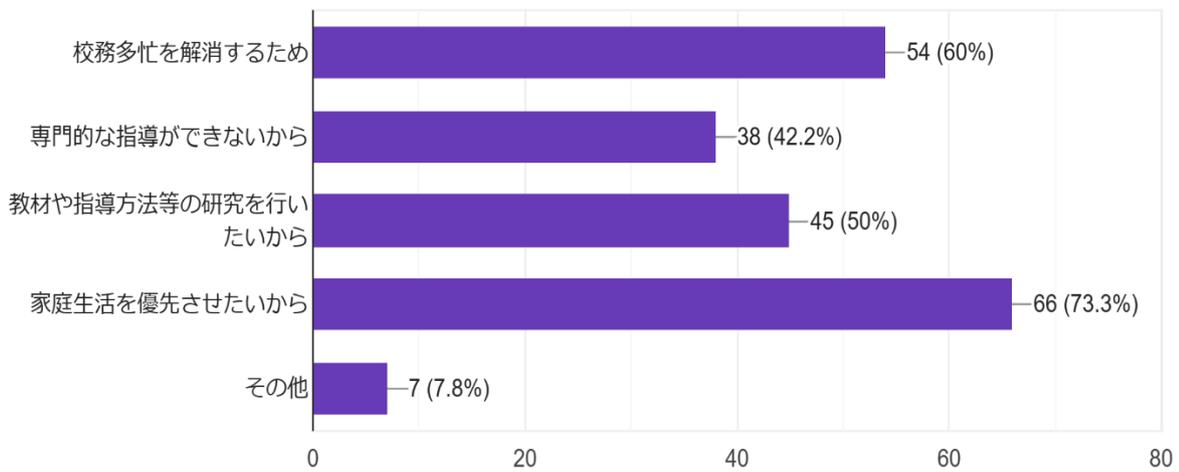
(1) どのような理由で希望しますか。(複数回答可)



(2) 休日に地域で部活動の指導希望する場合、どの場所での指導を希望しますか



[問9] 問7で「いいえ」と答えた方にお聞きします。その理由は何ですか。(複数回答可)



その他の理由として「部活動は 教育活動の一環であるため 行ってきたから給与面の理由から本来の業務に専念するため」があった。